

## 資料1 県災害対策本部会議の実施状況

## 1. 回数

全95回

## 2. 期間

平成23年3月11日～平成24年3月26日

## 3. 主な参加者（参加機関）

本部長（知事）・副本部長（副知事）・事務局長（危機管理監）・各部局長等・警察本部長等  
 政府現地災害対策本部・海上保安庁・自衛隊・仙台管区气象台・東北電力

## 4. 主な対応項目

- ・人命救助，被害情報・復旧情報，食料・物資，燃料問題，ご遺体安置（3月）
- ・燃料問題，瓦礫処理，応急仮設住宅建設，避難所環境対策，放射能関連（4月）
- ・避難所環境対策，民間賃貸住宅借り上げ・応急仮設住宅，放射能関連，災害査定（5月以降）

## 5. 会議内容

\* 議事要旨全文及び配付資料は，総務部危機対策課のホームページに公表している。

回	月日	時間	主な内容
第1回	平成23年 3月11日	15時30分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・15時02分に自衛隊に災害派遣要請</li> <li>・各市町村に，津波についての避難指示を徹底</li> <li>・防災へりにて，上空の情報収集</li> <li>・緊急消防隊の要請を消防庁に依頼</li> </ul> <p>【知事指示事項】</p> <p>情報収集に最善を尽くしてほしい</p>
第2回	3月11日	17時00分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内全域で停電。女川原発は停止中</li> <li>・職員安否を確認中</li> <li>・防災協定に基づく物資支援要請，協定先と連絡不通。引き続き連絡調整</li> <li>・仙台空港浸水状態。JR全線で運転見合わせ中</li> <li>・DMATに出動要請中。全国DMAT（災害派遣医療チーム）が，災害拠点病院の仙台医療センターに参集中</li> <li>・災害医療コーディネーター2名が医療整備課に配備し，病院に連絡</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・水門の状況を確認中</li> <li>・災害派遣体制に移行中。第6師団から連絡偵察要員を派遣し、情報収集中。映像伝送ヘリコプター出発</li> <li>・気象庁16時20分、地震名称「平成23年東北太平洋沖地震」と発表</li> <li>・死者少なくとも2人。石巻市港地区落下物圧死1人、柴田町高所作業中1人。宮城野区高砂で中学生流された情報。仙台南署員2名連絡不通。南三陸署が3階まで浸水。署員は全員無事</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>正確な情報収集に努めてほしい。各部局長の判断で専門対策チームを作って目的は、応急復旧対策をどのようにするかと被害状況の確認政府調査団が今日の20時に到着する予定。</p>
第3回	3月11日	19時30分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村の情報入手不可。仙台市内帰宅困難者多数。県庁に600人、2階（食堂）で対応中</li> <li>・女川原発1号機タービン建屋で火災。消火作業中。放射能漏れなし</li> <li>・広域水道断水。日本水道協会へ協力依頼したいが連絡不通。政府調査団に依頼希望</li> <li>・河川堤防決壊箇所多数。仙台空港ターミナルビル2階まで浸水中。付近住民含め100人以上孤立</li> <li>・死者8人。行方不明情報確認追いつかない状況。宮城野区中野小学校屋上600人孤立。自衛隊対応中</li> <li>・気仙沼市内で大火災。家屋倒壊多数</li> <li>・災害救助法適用、厚生労働省と調整がつき、国において発表予定</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>引き続き被害情報に努めてほしい。政府調査団30名20時到着。急ぎ政府要望含め、被害情報等報告願う。</p>
第4回	3月11日	22時30分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政府が本部会議に参加開始</li> <li>・自衛隊、海保、長野県、愛知県、札幌市等からのヘリ30基による救助を明朝から開始</li> <li>・国道45号線、不通、寸断の状況。道路30箇所不通。引き続き確認中</li> <li>・各医療機関、発電機のA重油が不足。調整中</li> <li>・死者16人。仙台市荒浜地区住宅ほぼ流され、溺死体200から300。詳細不明</li> <li>・第22連隊が塩竈到着。多賀城駐屯地付近で100名救助</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台市から、避難者6万から8万人。ストーブと毛布が不足</li> <li>・女川原発の火災は鎮火。最終確認中</li> </ul> <p>【知事指示事項】</p> <p>政府調査団が到達した。引き続き、被害情報収集。</p>
第5回	3月12日	5時00分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 本日6時、政府現地対策本部設置。ヘリ視察実施。官邸にA重油対応を依頼。緊急消防隊、東京都等の応援911人219台の消防車が気仙沼、石巻、名取市の沿岸部で活動中</li> <li>・仙台空港貨物ターミナル火災発生中。仙台空港屋上1,300人避難</li> <li>・女川町役場屋上まで水没し全滅。牡鹿町も。荒浜ご遺体約200、名取市閑上ご遺体約100名と報道</li> <li>・菅総理大臣が、本日、宮城・福島両県を上空からヘリで視察予定</li> <li>・死者33人、負傷者160人。警戒中警察官28名連絡不通。県内全域より110番入電</li> <li>・気仙沼市街地3分の1浸水。大規模火災3箇所。孤立者1,800名</li> </ul> <p>【知事指示事項】</p> <p>人名救助最優先で対応。大津波警報継続中で余震も続く。慎重な対応を。</p>
第6回	3月12日	10時30分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 全力尽くして人命救助に努める必要。金融庁が預金引き出しの早急な対応の通知を実施</li> <li>・新潟県からA重油7万ℓ支援。既に新潟県出発。県内各病院に搬送予定</li> <li>・ヘリは現在43機活動中。女川原発に周辺住民2,000人が避難</li> <li>・海上自衛隊、既にご遺体収容作業開始</li> <li>・死者83人、行方不明42人、負傷者166人、警察官安否不明32名</li> <li>・行方不明者の専用回線9時から対応。当分の間、開設予定</li> <li>・A重油について話し合い希望。発電機の燃料が非常に少ない状況</li> <li>・山形の第6師団司令部仙台到着。20連隊を気仙沼、南三陸に投入。計1,200名救助。福島から岩手までの海域で護衛艦12隻救助活動中。輸送、偵察、救助に航空機22機を運用中</li> <li>・南三陸町と連絡がとれない。女川町は一部連絡とれている</li> </ul> <p>【知事指示事項】</p> <p>高台以外全滅的状态。おそらく県から人を派遣しないと役場が機能しない。各部でどのような人をどう出せるか検討して。全国知事会通して何が必要か依頼したい話、早急に手当するとのこと。時間無い状況。企画総務課が窓口となり13時までに各部局要請リスト</p>

			提出。人手足りなくなる土木部は特に。
第7回	3月12日	15時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 被災72時間がポイント。残り48時間どれだけ人命救助出来るか。石巻中心に全力を挙げている。</li> <li>・自衛隊2万人から5万人で対応決定</li> <li>・南三陸町連絡不通。女川町災害対策本部は女川第一中学校に設置、町長も居る防災携帯電話で連絡可</li> <li>・死者149人、負傷者166人、不明18人。生存者優先。ヘリ6機救助中</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>大津波警報が解除されていない。二次災害にならないよう人命救助優先で必要な予算は予備費補正。公所にも徹底して。3月15日議会閉会日に予備費追加提案。特に薬問題。妊婦優先して対応を。避難者は、夜避難所に戻る。夜の人教えて。48時間勝負、行方不明者救出優先お願いしたい。</p> <p>国、都道府県支援申し出調整が大変。全国ボランティア、泊まる場所・食事問題対応できてない。準備整うまで待って頂きたい。</p> <p>物は配布大変、義援金でお願いしたい。マスコミの方、宜しくお願ひしたい。</p>
第8回	3月12日	19時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 廃棄物処理、分別が決まっていない。重油確保しているが輸送手段検討中。物資は備蓄整理を行い、適切な対応を図る予定。</li> <li>・自衛隊では3,700人を救助。愛知県から1,300人が船岡駐屯地に到着</li> <li>・死者178人、不明181人、負傷者361人、沿岸10署に781人派遣</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>総務部長のところ全体像を把握し、職員を市町へ派遣。保健福祉、土木の被害状況把握に努めること。</p>
第9回	3月13日	6時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 激甚災害指定をフルスペックで決定したい。ゴミ処理問題は県監督のもと市町村が一定条件下で実施。食料・水、危機管理監から依頼あり本日18万食で最終調整中。酸素ボンベ7病院320本対応中。</li> <li>・昨夜20時20分宮城県沿岸の大津波警報を津波警報に引き下げ。津波注意報へ切り替え検討開始</li> <li>・自衛隊では4,000名救助。別部隊を女川町、東松島市、石巻市に</li> </ul>

			<p>投入。残り要救助者 10,000 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者 182 人, 不明 181 人, 負傷者 361 人, 相談電話 776 件, ヘリ 6 機活動中。134 名救出</li> <li>・昨日 22 時現在 128 万戸停電(停電率 93%)。13 時から仙台駅西口, 広瀬通りなど 9 万 5 千戸解消</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>女川, 南三陸被害甚大。両町優先に物資届けて。燃料は国対応, 危機管理監と各部で優先順位付けて。</p>
第10回	3月13日	13時30分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 12 時気象庁が地震規模を M 9.0 に変更。ガソリン, A 重油の円滑</li> <li>・計画的な被災地への投入を, 各省庁等と連絡をとり強力に支援要請中。</li> <li>・7 時 30 分津波警報が津波注意報に変更。余震確率 M 7 以上確率 70%</li> <li>・ガソリン等問い合わせ殺到。県石油商業協同組合を通し要請しているが連絡不通。スタンド自家発電も併せ聴する。元売り段階から国の指導要請</li> <li>・ご遺体万人単位の可能性高い。夜間に及ぶ業務, 照明器具や医師・業務職員不足。ご遺体搬送場所確保の問題有り</li> <li>・行方不明者災害相談ダイヤル, 24 時間で 1000 件以上。間接情報止めてほしい。避難場所の問い合わせ非常に多い。避難場所は各市町に問い合わせるよう報道を要望</li> <li>・店舗等から略奪行為が横行。治安が悪化</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>仙台市長から 100 箇所 10 万人避難所生活と連絡。市内病院も, 薬・燃料・食事が無い。至急対応。</p> <p>燃料問題を最優先で。</p> <p>下水機能が停止。早急に対応を考えて。</p>
第11回	3月13日	20時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 水, 食料の確保, 避難所・孤立集落など不足箇所の把握を早急に。</li> <li>・17 時 58 分津波注意報解除。市町村報告死者 297 人, 行方不明者 398 人</li> <li>・食料 15 万食, 本日中に国から配送</li> <li>・燃料 60 万ℓ不足。本日中に対応して欲しいと国に依頼中。明日中に燃料ショートする地域有り</li> <li>・(政府) 東京自体厳しい状況だが, 燃料の件は何とか対応する予定</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応急仮設住宅の具体的な必要世帯数把握は時間かかる。第一弾で土木部通じて要請実施。阪神淡路の数字を参考、10,000戸は必要。経費600億円</li> <li>・ 荒浜で200体ご遺体収容できずにいる。原因は、13平方kmの冠水部分。陸からのアクセス不可</li> <li>・ 排水機4基すべて津波のため機能停止。排水不可。阿武隈下水は壊滅的な状況、貞山運河へ流す予定</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>水、食料不足の地区把握に努め国に早急に伝えて。          燃料必要箇所の優先順位つけ対応、優先順位上げて。          片山総務大臣に私から震災復興基金創設要望。火葬場提供を知事会要望追加。</p> <p>応急仮設住宅準備進め、市町村必要戸数や民間対応数を把握しておくこと。公営住宅確保・不動産協会にも早急に調整。</p> <p>計画停電でパン製造停止すると被災地へ供給困難、国の災害対策本部に連絡要請。</p> <p>災害ボランティア、国で「政府ボランティアセンター宮城」を創設して被災地と調整を。災害従事車両証明書があると高速道路無料とのこと。</p> <p>タンクローリーや食料輸送等災害用従事車両は危機対策課で対応願う。高速道路SAのガソリンスタンド利用できないか。使えるガソリンスタンドの調整を明日朝までに総務部長が行って。</p>
第12回	3月14日	9時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 津波注意報解除に伴い陸からの救助活動本格化。かなりの数のご遺体収容される、遺体処理の対応が問題</li> <li>・ 食料若干遅れているが、ある程度数量配送予定。重油も</li> <li>・ 総務大臣から、応急仮設住宅必要数を速やかに国土交通省に報告要望</li> <li>・ 沿岸部相当数のご遺体。南三陸町1,000体。ご遺体の傷み懸念、土葬で検討。火葬間に合わない。県の方針決め示して欲しい。厚労省に照会しており、午前中にも回答が来る予定</li> <li>・ 身元確認前に土葬出来ない。膨大な作業だが粘り強く身元確認必要。まずは場所の確保。泥まみれのまま土葬というのはいかがなものか</li> <li>・ 社会福祉会館にボランティアセンター開設済み</li> <li>・ 全国から義援金問い合わせ多く、受入口座開設準備中。口座確定次第、メディアでの広報を要望</li> <li>・ 石巻合庁水引かない。対策本部役目果たせず移転先相談中。東部</li> </ul>

		<p>土木・港湾含め下水道事務所に移動。道路パトロール本格化し災害調査にあたる。道路応急復旧対策，現時点で259箇所，被災額1,150億円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水は関係機関と調整必要だが，滅菌処理し，ダム放水，河川通じ海に流す。河川，海域のモニタリング行う。本格復旧までの対応。場所は仙塩，阿武隈，東部。今日の夕方まで調整する</li> <li>・気仙沼，石巻。女川に10万食を準備</li> <li>・離島10島中3島自衛隊入り，残り7つ海上自衛隊が食料届き次第入る</li> <li>・警察施設駐在所流出11箇所。雄勝地区，避難住民数カ所に分散。重傷者いないが食料・発電機ない。雄勝駐在警察官の無線が唯一連絡方法。北上地区，大川駐在所流され把握できない。牡鹿地区は渡波から鮎川まで全滅。各浜に100体程ご遺体。半島全体で1,000超えるかも。道路も分断</li> <li>・多賀城市産業道路中心にタンクローリー100台単位で多数横転。ガソリン漏れ危険。コンビナート火災，延焼続いているが弱火に。消化に至らず</li> <li>・朝7時現在停電93万戸，停電率65%。沿岸部は見通しなし</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>検死，死亡証明後の埋葬方法決定は厚生労働省か，市町村長か。まだ72時間前。救える命救う。</p> <p>物資対応しきれない。善意お金でお願いしたい，メディア広報宜しく。</p> <p>下水が一番心配。</p> <p>応急仮設住宅1万戸要請予定，県営住宅85戸確保，市町村住宅も把握したい。民間賃貸住宅，旅館ホテルを確保できないか確認中。不足の場合疎開も。応急危険度判定栗原市終えている，他も早急に。それも支援する。</p> <p>鮎川どうか離島心配。食料・水・大丈夫か江ノ島103名住民いる。海上自衛隊確認して欲しい。</p> <p>国がボランティアを一元化しているはず。県ボランティアセンターに連絡し，国と調整して。</p> <p>食料は届くようになってきている。電気回復してくれば店開くが，2・3日は開かない。県民全体食料不足。我々も食べていないが1食でも234万食必要。宮城も原発の影響の噂流れ，政府からアナウンスはしているが，停電でTV見ていないのでは。政府は繰り返し大丈夫と言っている旨情報流すしかない。</p> <p>人命救助は明日がリミット。頑張っ欲しい。</p>
--	--	--

第13回	3月14日	18時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 72時間経過。必死の活動感謝。1人でも多く助かること要望</li> <li>・(政府) 阿久津内閣府大臣政務官来ている。内閣府は302億円予備費から水, 食料, 日用品の支出決定。全力で取り組んで行くことを約束</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日からボランティアセンターを立ち上げる。</li> </ul>
第14回	3月15日	9時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 生存者助けると頑張る一方, 避難所物資欠乏。要望物資が現場に着いているか具体的チェック必要。燃料要請も来ており徹底的に追跡調査。物資は要請指示だけでなく現地到着確認が重要</li> <li>・災害対策本部に兵庫県, 奈良県, 新潟県から連絡員到着</li> <li>・本日13時30分定例県議会開会。2月補正, H23年当初予算, 予備費追加提案200億円を採決予定</li> <li>・仙台赤十字病院は電気復旧し患者受入可能, メディア広報要望。石巻日赤病院, 一般避難民500人, 避難所化してパンク近い。医療活動に支障。山形県等他への移動を検討必要</li> <li>・避難所長期化。感染症心配。消毒剤200ℓ13万500本, 確保目処</li> <li>・一般の方の燃料緊急課題。緊急車両用燃料確保, 県内3ヶ所に専用の供給場所を思案中</li> <li>・走行可能なルートをホームページに掲載</li> <li>・行方不明の相談ダイヤル, 3,741人の相談</li> <li>・昨日21時現在, 1,254ご遺体収容, 身元判明594体。不明668体。61名をご家族に引き渡し</li> <li>・仙台市内電気供給済。その他も復旧拡大。石巻市でも通電開始</li> <li>・石巻工業高校950名, 石巻商業高校約500名孤立, 仮設トイレ要請。志津川高校約330名孤立, ご遺体もあり。指定ない所に避難が相当数。各校公用車なく職員自家用車使用。各校1台緊急車両に指定して欲しいと要望。あるいはタクシー券使用可能か確認</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>飲食不足減ってきている。</p> <p>燃料最優先課題。山形・秋田・新潟も燃料不足, しばらくは苦しい状況。</p> <p>自衛隊, 本来でなく申し訳ないが遺体収容, 瓦礫撤去等よろしくお願ひしたい。</p>



			(緊急車両) 各校1台程度を、危機対策課長に相談して。タクシー券は取拾つかなくなるので要検討。
第15回	3月15日	18時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 行方不明者捜索続けるが生存者の生活支援に力点。連絡手段確保や食料, 水, 毛布, 燃料, 医薬品確保, 持病薬も切れる頃。災害査定簡素化は必ず行う。発電機, 費用負担問題は政府が必ず実施</li> <li>・仙台製油所火災鎮火。半径10km住民避難指示解除</li> <li>・火葬場の灯油と重油, 数日で切れる。水配送ガソリン不足。確保要望</li> <li>・福島第一原発関係, 本日, 主管課長連絡会議設置。第一回会議開催。原発事故に関する相談窓口3月16日から開始。受付時間は午前9時から午後5時(土日祝日含む)。県庁1階県民相談室隣</li> <li>・浸水エリアの排水対策必要。国交省に排水ポンプでの排水対策要請</li> <li>・仙台空港ビル中2階まで浸水。施設全滅。1,500m滑走路, 600m瓦礫撤去完了。自衛隊が現地調整</li> <li>・検死班人員不足。信頼できるボランティアに手伝ってもらい訳にいかないか。警察官でなくとも出来る仕事も多数</li> <li>・行方不明相談ダイヤル, 5,388人から相談</li> <li>・震災に乗じたコンビニ等店舗荒らし, 合計で11件381万円相当の被害。被害予防の呼びかけを実施中</li> <li>・石巻市, 東松島市に, 明日から課長級職員1名を派遣予定。南三陸町, 山元町は地方振興事務所から毎日派遣中</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>燃料不足。国と協議して対応したい。</p> <p>物資が届き出し, すごい量になる。捌ききれなくなるので自衛隊等と調整必要。</p> <p>南三陸町, 女川町は役場が機能していない。県中心にやっっていかなければ。</p>
第16回	3月16日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 引き続き燃料関係案じている。ここがだめという話あったら言って欲しい。迅速に対応実施</li> <li>・昨日から全国知事会, 民間団体より物資支援かなり多い。配送に注力。自衛隊協力を受領</li> <li>・原発, 今日9時から1階に相談センター設置。電話相次いでいる。1時間28件, 国から情報ない。必要な情報自治体にも知らせることを要望</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師派遣は大阪など各地域から沿岸部に配備。医師派遣、救護班が活動開始。病院ガソリンなく診療（通勤）できないとSOS多数。人工透析出来ないとの訴え。緊急車両専用に燃料供給所を3箇所確保</li> <li>・被災者用コメ，2週間30万人分精米588tを政府に要請中</li> <li>・仙台港使用可能。仙台空港15日までに1500m滑走路の瓦礫撤去</li> <li>・自衛隊で15,000名を救助。ご遺体新たに494体収容，合計1,646体</li> <li>・ご遺体，1,816体。場所確保が問題。検死班現200名だが，警察庁に5倍要望。医師300名必要。全国に声がけ市町村長にお願い文配布。おびただしい数の遺体，保管日増しに問題。検死作業必要最小限に</li> <li>・消防庁，83名救助。気仙沼市の火災はすべて鎮火</li> <li>・停電約45万6千戸，停電率約32%停電解消92万戸。郡部も復旧中。津波被害地以外は明後日に停電解消見通し。地域により困難箇所あり</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>奇跡的に今日も一名見つかった。まだ諦めてない。自衛隊，警察消防の人命救助よろしくお願ひしたい。</p> <p>食料はまだ十分行き渡っていない。食料，水の手配しっかり対応してほしい。</p> <p>報道の仕方で受け止め方が違う。特に御遺体の報道の仕方を注意してほしい。</p> <p>福島原発の件，デマ行き交って県民がナーバスに。国から落ち着いた行動を呼びかけてほしい。県民が県外脱出する動きがある。</p> <p>燃料は国と協議。確保に努めている。</p> <p>メディアの車両も緊急車両にする。ただし県政記者クラブ加盟者のみ。</p>
第17回	3月16日	18時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（政府）福島原発，政府に正確な情報入れるよう連絡。ガソリンスタンド情報，東北経済産業局から報告を要望。明日以降，仙台空港使える。ただし，米軍機，自衛隊機に使用限られる。</li> <li>・スタンドは岩手・宮城は緊急対応のみで深刻な状態。東北にタンクローリーで燃料配送するよう努力中。</li> <li>・午後4時現在，死者1,431人，行方不明者2,322人</li> <li>・全国から励ましメールや電話。反面，回線が混雑し通信障害が発生。必要な情報収集が出来ない事態</li> <li>・原子力保安院から，毎日説明会開催すると連絡あり</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所の感染症対策，東北大学の先生に発生予防の指導を受ける予定</li> <li>・停電，42万1千戸，停電率30%，復電戸数96万戸。白石市，多賀城市，栗原市，登米市回復広がり</li> <li>・避難所の県立学校，市町村の人的支援ほぼない。各校教職員が対応。発災以降不眠不休5日目で，限界。石巻，気仙沼，南三陸，避難所細分化が問題。市町村職員，携帯電話が使えず，多くの避難所を歩き来</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>南三陸町，気仙沼市は電力ゼロ。</p> <p>物資は足りないが，広くは行きわたっている。</p> <p>ご遺体痛んでくる。迅速に対応しなければ。</p> <p>避難者への丁寧なケア，精力を傾けていきたい。大きな場所や離れた場所に，移動も考えなければ。他県から集団疎開について話をいただいている。</p>
第18回	3月17日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（政府）松本防災担当大臣から，搜索救助活動と共に，避難所生活面ケアに特に注力と指令。特に高齢者，子ども，妊産婦など要援護者ケア重要。厚労省とも連携取って責任持って対応予定</li> <li>・死亡者1,643人，行方不明者2,223人，重傷者161人。昨日から避難者リスト県ホームページに掲載</li> <li>・関西広域連合から県外避難の申し出。公営住宅等に京都200戸，大阪府2,000戸，兵庫600戸，和歌山120戸，その他鳥取徳島滋賀県などかなりの人数を受け入れられるとのこと</li> <li>・農林水産省と防衛省協議結果，食料・水150万分を毎日自衛隊機使って送ると農林水産省から</li> <li>・気象庁ホームページに特設ページ。物資輸送等に役立てて</li> <li>・仙台空港，救援機の物資輸送が今日から可能</li> <li>・ご遺体の収容230体，合計2,093体</li> <li>・物資被災地に届いてない。途中行方不明。県内2箇所物資集積所を定め，今後はスムーズになる</li> <li>・日米共同作戦でトライしたが，天候不良で離島に届けられなかった。またトライ予定</li> <li>・906名身元判明も引き取り手なし。火葬埋葬手段なし。推察氏名公表している。避難所でホームページを見られる体制取って欲しい。これにより身元判明のスピード上昇</li> <li>・行方不明者の相談ダイヤル9,434名相談。500名は問題解決</li> <li>・九州からの緊急援助隊3,013名が県内で活動</li> </ul>

			<p>・ 停電戸数 345,000 戸， 停電率 24%復旧戸数 103 万戸</p> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>県ホームページ， マスコミからPRを宜しく。</p> <p>燃料なく簡単でないが， 疎開も考えたい。食料大量に届くが， 燃料なく避難所に届いてない。離島は燃料， 食料は届いているか。</p> <p>市町村に連絡し明後日朝までに通電していない避難所把握すること。</p> <p>大量の家屋， 車をどう処分していくか。国の方針を示していただきたい。</p>
第19回	3月17日	18時05分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (政府) ドラム缶軽油， 灯油最大 250 本明日から被災地へ。19 日からタンクローリー増車予定。仙台港は安全確認しつつ入港可。物資入ってくる</li> <li>・ 死者 1,716 人， 行方不明者 2,366 人</li> <li>・ 物資搬送の県の集積地として卸町付近に 4ヶ所倉庫を確保</li> <li>・ 地盤沈下があり大潮の時期に入る。相対的に潮位が上がる</li> <li>・ A 香港型インフルエンザ東日本で発生増。避難所の集団発生に注意必要。</li> <li>・ 県内精米設備被災で精米が不足。玄米を県外で精米し持ち込む。来週月曜日から徐々に米不足解消見込み</li> <li>・ 全面通行止め県道 81 箇所， 国道 11 箇所。水道復旧に伴い大量下水， マンホールからあふれる事態も考えられ， 水道使用節減の広報を強める予定</li> <li>・ ご遺体 3,158 体。262 体の増加</li> <li>・ 緊急消防援助隊 3,316 人が活動中</li> <li>・ 停電戸数 296 千戸， 停電率 21%。75 千戸は明日中に復旧予定</li> <li>・ 県内 703 のうち 33 スタンド営業， うち 26 箇所緊急車両のみ。厳しい状況が継続中。東北全体で 3.8 万klの需要。どう手配するか検討中。来週精油所稼働。稼働前に成果出すことを希望</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>明日， 軽油・灯油 60 缶被災地に輸送。軽油は緊急車両用のみ。輸送は自衛隊にお願いする。ガソリンはドラム缶で輸送不可。危険とのこと。ドラム缶には「危険・ガソリン」，「危険・灯油」と書いて。間違ったら大変。</p> <p>仙台市蒲生の下水施設被害， 県全体の問題。マスコミ， 節水広報宜しく。</p> <p>燃料関係少しずつ目処。</p>

第20回	3月18日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 災害廃棄物等処理方針，追って詳しく報告。総理さらなる体制強化方針。被災者生活支援，物資輸送，孤立避難所解消，応急仮設住宅，廃棄物処理，遺体収容埋葬，避難者受入対策等具体的指示。復興に女性大きな役割。女性視点から生理用品おむつ，粉ミルク等の安定供給意向</li> <li>・遺体処理関係，経済産業省通じ棺3,000が県内に納入される。拠点設け各地に搬送予定</li> <li>・医療救護班，県要請14チームと自主的活動10チーム活動中</li> <li>・避難所でインフルエンザ発生危惧。連絡取れない市町村は保健師が巡回</li> <li>・下水処理場停止。協力呼びかけたい。上流から使用控えないと</li> <li>・ご遺体3,860体，昨日964体収容。行方不明者相談ダイヤル13,403件。1日の110番件数902件，はじめて1,000件下回った</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>地震発生後一週間経った。改めて，亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げる。被災された皆様に心からお見舞い申し上げたい。行方不明者捜索に全力を挙げてきたが，継続しつつ，被災者皆様の生活支援に重点を移していきたい。</p> <p>避難所の状況かなり劣悪で分散。今後は別の場所に避難も考えて行かなければ。他の都道府県から受け入れの声も。集団で遠いところに避難も考えなければいけない。対策チームを設けたい。</p>
第21回	3月18日	18時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 被災家屋等，明らかに財産的価値ないものは一般廃棄物。市町村責任で処理可能。車両の取扱はまだ検討中</li> <li>・福島第一原発事故，相談件数588件。放射線モニタリング基準値以下</li> <li>・保健師活動17道県から応援。心のケアチーム，13都道府県その他機関から応援。医療救護班29チーム活動。医薬品は自衛隊と調整し，避難所搬送を実施。避難所でのインフルエンザ等感染予防を周知</li> <li>・物資支援申し出多数。政府要請食料100トンは明後日に亙理，山元，仙台，石巻，気仙沼に到着予定</li> <li>・県道85路線150箇所通行規制。県民，事業者への節水広報を実施</li> <li>・ご遺体収容数4,030体</li> <li>・17時現在，停電戸数23万戸，停電率16%</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガソリン，西日本から2万kℓ，北海道から1.8万kℓ搬送予定。来週後半には供給は大幅に改善する見込み</li> <li>・被災児童トラウマ懸念。心身回復に十分配慮必要。津波思い出させるインタビュー厳に慎むよう要望</li> </ul> <p>【知事指示事項】</p> <p>軽油灯油は避難所に届き，使われているか確認を。</p> <p>応急仮設住宅1万戸必要とのことだが，宮城県より被害少ない福島県2万戸必要と報道されている。概数でいい，少し数字を詰めて。後々数が足りなくなる。</p>
第22回	3月19日	10時00分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 農水関係手続き柔軟に対応する。灯油ストーブ一酸化炭素中毒の恐れ。使用見直し必要。声かけ必要</li> </ul> <p>【知事指示事項】</p> <p>少しずつ避難所環境整備されつつある。インフラも相当程度できた。避難所集約も考慮する必要ある。</p>
第23回	3月19日	18時00分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 心のケア対策，子供たちのスクールカウンセラー要望が出てくる。準備を進行中</li> <li>・死者2,689人，行方不明者2,985人。被害額約2,830億円</li> <li>・医療チーム40チーム活動中</li> <li>・ご遺体収容安置4,449体。相談ダイヤル17,011件うち連絡5,049名</li> <li>・3,242名の緊急援助隊が活動中</li> <li>・停電戸数は181,527戸，停電率13%。津波等影響で復旧作業着手できない地域18万4,000戸</li> </ul> <p>【知事指示事項】</p> <p>全壊家屋撤去の瓦礫どこに置くか，市町村の中に置き場所がない所もあり，県と国で調整する。</p> <p>避難所非常に多く，物資が行き届かない所も。不便をかけるが引き続き対応願います。</p>
第24回	3月20日	10時00分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 本日16時被災者生活支援特別対策本部開催。主に被災者の生活支援について協議</li> <li>・死者4,149人，行方不明3,435人</li> <li>・医療チーム42に増加</li> <li>・ガソリン供給不満が一般の方，役場からも。対応かかり切りの職員あり</li> <li>・白米50t石巻・気仙沼に配送</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご遺体収容数 4,882 体 593 体増。ご遺族引き渡し 952 体。瓦礫処理スピードにかかっている。当面 1 日 400 体ペースの見込み。遺体安置所 15,000 人分必要。搬送・火葬埋葬体制が非常に重要</li> <li>・停電 174,832 戸，停電率約 12%。見込みより工事不可戸数少</li> </ul> <p>【知事指示事項】</p> <p>J R，空港ビルの復電優先度を上げて欲しい。</p>
第25回	3月20日	18時00分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者 4,580 人，行方不明者 3,413 人。安否不明職員 11 人</li> <li>・医療救護班 52 チーム活動</li> <li>・市町村災害ボランティアセンター 12 市 11 町で立ち上げ。ボランティア 347 人活動中</li> <li>・灯油と軽油のドラム缶，対象市町村に第一ステージとして搬送済</li> <li>・本日石巻市門脇にて 80 才，16 才救出。遺体安置収容総数 5,053 体（前日より 171 体増）</li> <li>・停電 167,570 戸，停電率 11%</li> </ul> <p>【知事指示事項】</p> <p>二名が救出された。皆様の努力が人命を救うことに。本当にありがたい。最後まであきらめず努力していきたい。</p> <p>避難の皆様，非常に厳しい劣悪な生活。少しでも良い環境に努力して行きたい。</p> <p>会議調整事項減ってきたが火曜日（3月22日）まで，この体制。</p>
第26回	3月21日	10時00分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（政府）総理視察天候不良で中止，阿久津政務官，村井知事が現地調査。</li> <li>・流された自動車は登録抹消→自治体が集め保管→所有者探す（リスト公表）→リサイクル業者。家電は自治体が集め，震災廃棄物として一括処理</li> <li>・交通関係，仙石線あおば通～小鶴新田間 3 月中運転再開。宮城交通バス 22 日（火）から名取～長町間，臨時便運行（仙南交通及び桜交通含む）</li> <li>・塩釜港区石油配分基地 3 バース供用可。21 日オイルタンカー着船予定</li> <li>・遺体安置収容状況，総数 5,244 体</li> </ul>
第27回	3月21日	18時00分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総理が知事，石巻市長，東松島市長と災害復旧対策を電話会談</li> <li>・死者 4,483 人，行方不明者 3,265 人</li> <li>・被害者情報ダイヤル開設 3 月 22 日 16 時。以降は 9 時～ 21 時。5 回線</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災住宅相談窓口，建築宅地課・土木事務所・土木地域事務所に設置</li> <li>・ご遺体収容場所に，夢メッセ・宮城スタジアム・グランディ 21 サブアリーナ使用目途。警察学校・女川の，総合グラウンドの5箇所と既存場所で 15,000 体収容見込み。十分か予断許さない状況</li> <li>・犠牲者所持品情報ホームページにアップ済み。行方不明者相談ダイヤル 30,282 名相談，確認 7,523 名</li> <li>・停電状況 149,249 戸，停電率 10%</li> <li>・児童生徒の死者 56 人，行方不明は児童と教職員で 1,200 人</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>兵庫県知事から「無秩序に家を建て始めると全く整備出来なくなる」とアドバイスあり，規制を考えている。</p> <p>物資は石巻方面心配だったが，総合運動公園視察し，自衛隊で管理を確認。安心した。</p>
第28回	3月22日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者 4,639 人，行方不明者 3,487 人</li> <li>・罹災証明書発行，沿岸部発行業務困難。各市町村支援体制を取る意向</li> <li>・自衛隊で本日，国道 398 号線南三陸町戸倉に 30 m の橋を架ける予定</li> <li>・ご遺体安置状況総数 5,507 体，263 体増。引き渡し率 41.7%</li> <li>・停電 142,567 戸，停電率約 10%。県南浄化センター 30 本以上電柱なぎ倒され大変な状況。仙塩浄化センター明後日に 154,000 キロボルト通電</li> <li>・明後日文科科学省の金森審議官ら 3 名が現地視察予定</li> <li>・兵庫県教員震災支援チーム「アース」第 2 陣 2 チーム 6 名到着。明後日第 3 陣到着予定。関西広域連合の支援チームも現地入り活動</li> </ul>
第29回	3月22日	18時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご遺体総数 5,607 体(100 増)。県警ホームページ身元不明者 1,377 名</li> <li>・停電 13 万 8,673 戸，停電率約 10%。徐々に減少</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>午後から仙台市内，仙台港石油精製所，塩釜の製油所など視察。港はかなり厳しい状況。石油精製所再開に時間がかかる。今後，塩釜の製油所を中心に油の提供をしていく方針。</p>



第30回	3月23日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者4,978人、行方不明者5,196人</li> <li>・昨日開設の避難者相談ダイヤル501件。避難者名簿記載の方87件</li> <li>・被災動物救護本部を設置</li> <li>・軽油ドラム缶120缶を公共施設等に配送</li> <li>・遺体安置総数5,714体107増。引き渡し3,142体、引き渡し率55%</li> <li>・船艇54隻、航空機19機展開、捜索、漂流物を回収。潜水海底捜索を女川、気仙沼、石巻で実施予定</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>応急仮設住宅、プレハブ建設協会に第一弾1万戸要請。建設適地を市町回り調査。第一次着工分千戸程度決定。候補地選定、津波被害沿岸市町優先。造成工事等不要で早期着工が出来、下水道ライフライン引き込み時間要しない、建設戸数がまとまって確保できる。必要戸数確保に相当時間要する。</p> <p>早期仮設住宅確保困難な為、入居決定に高齢者、障害者、妊婦、乳幼児家庭を優先。地域コミュニティ配慮した入居実施を市町村にお願いしている。民間賃貸住宅や公営住宅利用、一時的に県外二次避難施設に集団で避難等、さまざま実施していきたい。必要な仮設住宅は必ず準備。被災者皆様ご理解いただきたい。</p> <p>まだまだ混乱しているがだいぶ落ち着き、政務官二人がいらして私たちの声が直接届くようになった。この体制を充実していただければと強く思う。</p> <p>排水悪く捜査難航。国交省、農水省にはポンプを全国的に集めて排水を最優先していただきたい。</p>
第31回	3月24日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各避難所を保健師・医療救護士が巡回。衛生状態悪化、感染症蔓延の懸念。要介護高齢者心配される状況。県ケアマネージャー協会に協力要請。厚労省に介護職員派遣要請</li> <li>・ご遺体の推定氏名リスト1,202名。相談ダイヤル受理で把握している行方不明者は40,635人</li> <li>・停電数13万2,678戸、停電率約9%。昨日から約6,000戸停電解消</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>応急仮設住宅第1次として1,110戸決定。3/28から随時着工予定。</p>

第32回	3月25日	10時00分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者5,720人、行方不明者6,636人</li> <li>・(政府)瓦礫処分、本日10時30分解禁公表。県要望通り、作業の私有地立ち入り、損壊家屋等撤去、自動車、船舶動産、躊躇なく行動が取れる。瓦礫下にご遺体含まれている。環境省にはそういう思い込め法律運用して欲しいと伝えている。瓦礫撤去進めないと町の復興進まない</li> <li>・各地域スタンド開く傾向。東北自動車道一般車両入り1時間待ち。救急車両が高速で給油困難な状況</li> <li>・仙台湾南部地域29台ポンプ車導入。国交省で排水。石巻東松島方面3箇所完了。現在10箇所作業中</li> <li>・仙台塩竈港、5,000kl級タンカー入港可能。本日一隻入港予定</li> <li>・今後、犠牲者身元不明だと対応は発見市町村。グランディのご遺体は、利府町対応という問題も</li> <li>・停電戸数131,221戸、停電率約9%。昨日より約1,500戸停電解消</li> <li>・教職員の異動、被災地勤務教員は被災地勤務と新任地勤務を兼務</li> </ul>
第33回	3月26日	10時00分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府)ボランティア希望多いが、現在待ち状態。総括するシステムは作ったが、ガソリンがない</li> <li>・死者5,983人、行方不明者6,240人</li> <li>・ガソリンスタンドトラブル急増。マスコミから緊急車両優先と広報してほしい。</li> <li>・仙台市営バス28日より6時30分～20時30分間通常運行。愛子バス、仙台～錦ヶ丘間で28日から増便運行</li> <li>・福島原発事故相談件数2,003件。放射能モニタリング調査、基準値以下</li> <li>・塩竈港使用許可。明日5,000klタンカー2隻、7,000klの燃料が入る</li> <li>・停電状況122,756戸。停電率9%。気仙沼変電所が出来たので気仙沼市南部、本吉町一部復旧</li> <li>・ガソリン見通し、タンクローリー供給がメイン。西日本、中部圏、首都圏から増強。来週震災前の台数に。秋田、青森からの輸送もあり効率が悪い。ガソリンスタンド営業、電話調査で東北全体3,860店中1,600店。宮城県100営業回答。実際200店の情報もある。行列で電話出られない状況</li> </ul>
第34回	3月27日	10時00分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府)瓦礫処理は県が主体。(車を含む)処理経費は阪神淡路大</li> </ul>

			<p>震災を超える経費を考えている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿岸部を中心に行方不明者の搜索実施</li> </ul>
第35回	3月28日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 瓦礫撤去ほぼ100% 国庫負担。石油流通未回復。今日、官邸の緊急対策本部で防災担当大臣から発言予定</li> <li>・死者6,173人、行方不明者7,575人。農林水産関係でかなり被害額が上がり、1兆1,580億</li> <li>・自衛隊とトラック協会の協力を得て、灯油ドラム缶で100缶、軽油80缶を被災地に運ぶ段取り</li> <li>・現地政府対策本部に調整お願い。気仙沼・石巻市冷凍冷蔵庫内水産物、冷却不能で一部悪臭。約5万トン推定。公衆衛生上早急に対応必要。焼却、埋め立て、海洋投入、それぞれ問題あり。関係者連携調整必要</li> <li>・農林被害額7,000億程度。約13,000ha農地浸水。漁港被害額推計1,875億円。漁船被害甚大。20t以上大型漁船、149隻中残78隻。小型漁船被害さらに大。水産物、養殖施設等壊滅状態</li> <li>・停電戸数119,861戸、停電率8%。津波で大幅損壊した変電所、自衛隊協力で瓦礫等撤去終わり</li> <li>・県内ガソリンスタンド、主要5社で営業状況67%</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>3月14日、震災廃棄物処理対策検討チーム設置。国には自治体機能喪失市町村に代わり県が代行する方法、財産的価値ある震災廃棄物取扱等要望してきた。膨大な災害廃棄物、県が処理主体となり県主導の下、処理進める。今日から市町村を訪問し意向確認。被災地の早期復旧、復興に廃棄物早期処理最重要。</p> <p>1年以内に一次仮置き場に撤去、二次仮置き場3年以内を目途に処理。今回の災害廃棄物量、現時点で概ね1,500万tから1,800万t。県内1年間の排出一般廃棄物23年分。</p> <p>マスコミ皆様、節水協力のPRお願いする。</p>
第36回	3月29日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者6,455人、行方不明者7,047人。被害額1兆1,620億円</li> <li>・乳牛工場本格稼働開始。8割の酪農家が、一日150t生乳出荷可能。震災前の40.9%相当</li> <li>・避難所の栄養ケア、石巻市、気仙沼市を問題視。重点地域を対象に対応策検討を進めている</li> <li>・停電状況11万5,738戸。停電率約8%。市ガス復旧19,842戸、復旧率6.4%</li> </ul>

			<p>【知事指示事項】</p> <p>塩竈市油槽所に昨日 4,700 kℓ, 今日 5,400 kℓガソリン入る。被災前一日平均使用量 3,600 kℓを大きく上回るガソリン入荷。</p> <p>3月25日国から「損壊家屋等の撤去等に関する指針」が示され、「宮城県被災自動車の処理方針」を取りまとめた。県主体・主導のもと処理を進める。被災自動車台数、概ね15万台程度と推計。今回被災自動車処理するため組織された自動車リサイクル関連団体協力により、一時保管場所まで移動、所有者確認等手続き後、自動車リサイクル処理法に基づく処理。</p> <p>国の8月末概算要求までに震災復興計画示さないといけない。</p>
第37回	3月30日	10時00分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者 6,576 人, 行方不明者 6,933 人。被害額, 農林水産部</li> <li>・土木部関係被害大幅増。1兆3,320億円強</li> <li>・避難所等で要介護者, 県外への移転搬送が増加</li> <li>・本日14時から高速道路, 自動車専用道路が全面車両通行可能。仙台塩竈港, 石巻港, 物流機能復興会議をそれぞれ開催。仙台空港で救援機のみ3,000m滑走路の使用が可能</li> <li>・停電戸数 112,882 戸, 昨日に比べ 2,856 戸減少</li> <li>・ガソリンスタンド稼働状況 71%。石油製品出荷量は昨年比 64%</li> </ul> <p>【知事指示事項】</p> <p>松島町, 東松島市, 塩釜市, セービング町は文化財保護区域。建築, 改築に厳しい制限あり。文化庁吉田次長が県教育庁に崩落土砂や撤去物仮置に関し従来通り対応してよいと了解得た。今後規制緩和が大きな問題。</p>
第38回	3月31日	10時00分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者 6,674 人, 行方不明者 7,117 人。被害額は経済商工観光部関係が加わり, 2兆750億円強</li> <li>・水道関係の未復旧率 20%。停電戸数 105,491 戸, 停電率 7%</li> <li>・ボランティア活動状況, 1,550 名に増加</li> <li>・自衛隊の協力を得て, 軽油 85 本, 灯油 100 本を配送予定</li> <li>・震災後 110 番 1万7,479 件。一日平均 919.9 件。昨年一日平均の2倍以上。ピーク 3月12日 2,313 件。最初 110 番, 当日 15時32分唐桑の男性</li> <li>・ガソリンスタンド稼働 420 店 72%。石油製品出荷量, 29日データ昨年比 99%</li> </ul> <p>【知事指示事項】</p> <p>大島国土交通大臣から仙台南側海岸 31.7 km国直轄整備と連絡あった。仙台より北側整備に注力出来る。</p>

第39回	4月1日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 6万tの廃棄水産物, 緊急の実施必要。災害廃棄物処理時用の特例を適用し対応予定</li> <li>・死者6,771人, 行方不明者7,159人。被害額8,928億円, うち津波被害額8,844億円</li> <li>・自衛隊生活支援12万食配給。炊き出し4万2千食, 給水275t, 燃料約40kℓ配給。入浴6,000名利用</li> <li>・停電104,420戸, 復電率約7%。石巻市, 塩竈市で若干千戸停電解消</li> <li>・ガソリンスタンド稼働状況, 74%。石油製品出荷状況30日現在昨年比で113%</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>応急仮設住宅第一次着工分3月30日までに13市町1,207戸着工。第二次着工予定, 10市町新規団地12箇所, 第一次着工団地追加分を合わせ, 約1,200戸の建設決定。第二次まで合計13市町, 25団地約2,400戸。</p> <p>冷凍冷蔵庫保管物処分, 気仙沼・石巻冷凍冷蔵庫内水産物一部悪臭問題, 3月31日現在6万t以上確認。放置すると腐敗が進み, 時間経過と共に衛生上大きな問題。早急な対応必要。焼却能力限界あり, 埋め立ても場所確保できない。総合的に勘案し, 国, 関係機関と調整の上, 緊急的措置として海洋投入処分を行う。</p>
第40回	4月2日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活福祉資金(緊急小口資金), 6市13町村4,752件で約6.6億円の貸し付け実施</li> <li>・ガソリンスタンド稼働率80%。石油製品出荷率77%</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>応急仮設住宅の建設は長期間に及ぶ。まずは, 安全な場所に二次避難を, マスコミにPRして頂きたい。</p>
第41回	4月3日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者6,969人, 行方不明者6,370人</li> <li>・都市ガス復旧率33%。101,868戸(約7%)停電中</li> <li>・医療救護班56チームが従事。</li> <li>・災害ボランティア, 4月1日は2,436人</li> <li>・自衛隊が灯油ドラム缶1,110缶を石巻へ輸送</li> <li>・ガソリンスタンド稼働率79%。石油製品出荷量前年比107%</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>国土交通副大臣より, 建設海岸は国直轄で行うとのこと。農林水産大臣より, 農地・漁港海岸も国直轄事業で対応とのこと。仙南地</p>

			域は全て国で行う。宮城県は県北の海岸に集中できる。
第42回	4月4日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者7,059人、行方不明者6,369人</li> <li>・都市ガス復旧35.9%。停電7%。ガソリンスタンド稼働率79%。出荷率127%。</li> <li>・公立学校の人的被害、児童・生徒209名、教職員14名が死亡</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>3週間経過。大臣等直接現地訪問し、被害状況を見て要望を聴いて頂きともありがたい。4月8日に被災状況・要望を取りまとめ、東京で直接政府と話し合う予定。これから新たなステージに入る。</p>
第43回	4月5日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 災害救助法に基づく「住宅応急修理制度」工事完了期間延長する方向で厚生労働省と調整</li> <li>・「中小企業経営安定資金・災害復旧対策資金(東北地方太平洋沖地震災害対策枠)」の創設取扱期間、平成23年4月1日から平成23年9月9日(融資実行分)。</li> <li>・名義人死亡の金融機関引き出し(柔軟な手続き)の相談が多い。金融庁で検討お願いしたい</li> <li>・被災者情報ダイヤル受信件数、累計8,358名</li> <li>・災害ボランティア4月3日2,518人。義援金119,848件55億円</li> <li>・都市ガス復旧率40%。宮城県停電率7%</li> </ul>
第44回	4月6日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 燃料供給状況まだ安心できない。県民の充足感得られるまで引き続き頑張る</li> <li>・日本赤十字社関係の海外支援を活用した第一次支援、応急仮設住宅へ家電(洗濯機、冷蔵庫、テレビ、炊飯器、電子レンジ、電気ポット)6点。定員超え介護施設、ベッド配備。被災市町村へ車両配備</li> <li>・1,800万tの廃棄物処理「宮城県災害廃棄物処理対策協議会」設立。4月8日13時45分第1回会議開催</li> <li>・死者7,276人、行方不明者6,321人</li> <li>・災害ボランティア、4月4日時点2,303人</li> <li>・4月5日県漁協経営管理委員会で、浅海域操業を5月末日まで自粛決議。宮城県、宮城県海区漁業調整委員会へ法的措置の要請予定。知事の許可する部分、大臣許可部分も県から要請する</li> <li>・排水対策、島の海地区の作業に着手。自動車運搬船定期航路運航再開</li> <li>・停電98,474戸(7%)。ガソリンスタンド稼働率83%。石油製</li> </ul>

			<p>品出荷量 74%。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財レスキュー事業，文化財の応急保管 4月6日スタート</li> <li>・工業用水道復旧状況，送水可能事業所数 57 件，送水開始事業所数 43 件</li> </ul>
第45回	4月7日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活福祉資金（緊急小口資金）貸付，仙台市他 29 市町村社会福祉協議会に設置。</li> <li>・都市ガス復旧率 51%</li> <li>・石巻線：小牛田－前谷地間が 4月15日運転再開</li> <li>・水産業関連被害，漁船等被害 20 t 以上漁船分 107 億円</li> <li>・無秩序な建築行為，投機的な土地取引を抑制の緊急措置。建築基準法第 84 条に基づく建築を制限</li> <li>・ガソリンスタンド，調査 23 店舗全てが営業中。給油待ち車列解消</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>応急仮設住宅建設，3 万戸建設で進めている為，事業者を広く公募。</p>
第46回	4月8日	1時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月7日，仙台市宮城野区と栗原市で最大震度 6 強。津波警報 0 時 55 分解除</li> <li>・被害状況，0 時 40 分仙台市ガス漏れ 13 件，火災 5 件，救急，救助多数</li> <li>・女川原子力発電所 1～3 号機停止。震度 5 強を観測したが被害なし</li> <li>・仙台，大崎，栗原，登米で停電</li> </ul>
第47回	4月8日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（政府）政府会議 2 時開催。避難所・被害状況把握を指示</li> <li>・余震被害，重傷者 1 人（栗原市），軽症 47 人（うち栗原市で 27 人）。住家・非住家被害，全壊 4 棟（涌谷 1，美里 3），半壊 1 棟（涌谷），一部損壊 94 棟（利府 88 棟），非住家被害 7 棟（美里 6 棟，涌谷 1）。ライフライン調査中</li> <li>・「東日本大震災早期営農再開支援センター」設置，マスコミ PR お願い</li> <li>・ガス局被害状況，ガス漏れ 3 時現在 159 件，都市ガス復旧率 57.5%</li> <li>・余震被害，女川原子力発電所異常なし</li> <li>・余震被害，火災 4 件，救助 21 件（主にエレベーター内閉じ込め），ガス漏れ 64 件，救急 134 件搬送 65 名。搬送に重傷者なし</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・余震被害，停電状況7時現在864,315戸。8時766,812戸。停電54%</li> <li>・日本海側含め東北全域停電しているのが今回の地震の特徴</li> <li>・ガソリンスタンド稼働率87%，石油製品出荷量対昨年比94%。余震の影響で営業停止あり</li> </ul>
第48回	4月8日	18時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省に，避難所の栄養・食生活支援の行政管理栄養士派遣要請</li> <li>・親族等本人以外への預金払出し，柔軟な対応認められた。マスコミPR協力願いたい</li> <li>・余震で信号機928基中247基滅灯。交通に甚大な影響。発電機必要</li> <li>・余震による電力状況，864,000戸から350,000戸に解消。停電率36%。明日までの復旧</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>午前中，菅内閣総理大臣会談。</p> <p>要望3点。ボリュームある要望内容を法案化，被災自治体に財政的支援，総理自ら景気回復の音頭をとということ。前向きな回答頂いた。</p> <p>仙台空港国内線再開，大きな被害受けたが，国交省，自衛隊，アメリカ軍協力のお陰。当面国内線，いずれ国際線も再開させたい。</p> <p>応急仮設住宅第三次着工1,930戸，計4,385戸予定。大規模余震で精神的にダメージと思うが，もう一踏ん張り。</p>
第49回	4月9日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者7,495人，行方不明者6,578人，被害額2兆2,346億円の見込み</li> <li>・災害ボランティア，4月7日3,500人活動中</li> <li>・172,979件停電。停電率12%</li> <li>・ガソリンスタンド稼働率70%，石油製品出荷量4月7日影響受け86%</li> <li>・東日本大震災の死者，生徒・児童240人，職員15人</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>義援金全国から多く寄せられ，国で配分基準決定。4月8日から東日本大震災と4月7日別々に報告してきたが，4月7日は東日本大震災余震であることから，分けずに調査・報告すること。</p>
第50回	4月10日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・余震の影響，東北新幹線：那須塩原－福島間4月12日運転再開。仙石線：青葉通り－東塩釜間4月中旬運転再開見込み。小鶴新田</li> </ul>



			<p>まで再開している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月7日の影響, 8路線中4ヶ所規制中</li> <li>・ ガソリンスタンド稼働率 85%</li> </ul>
第51回	4月11日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黙祷</li> <li>・ 都市ガス再開復旧率 67.5%</li> <li>・ 破損冷凍冷蔵庫の保管物の第一回海洋投入, 気仙沼は本日, 海洋投入開始。石巻は本日マスコミ公開</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>発生から1ヶ月, 皆様ご協力に感謝。県一斉黙祷検討したが, 自衛隊, 警察, 行政機関等の各作業に支障が出る。行方不明者捜索や応急仮設住宅の建設が最優先と判断, 黙祷行事は止める。</p>
第52回	4月12日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (政府) 一昨日, 管内閣総理大臣が石巻視察。漁港含む瓦礫処理, 大規模漁港は復旧進んでいるが市町村管理の中小規模漁港が心配。原則管理者が行うが, 陸上と同じスキームで検討されたい</li> <li>・ 都市ガス復旧率 74%。停電率 7%</li> <li>・ 海水放射能調査, 平成 23 年 4 月 13 日測定予定。測定結果は 2～3 日後。</li> <li>・ 活動ボランティア総勢 2,307 人。増加傾向</li> <li>・ 宮城県に寄せられた義援金, 4月8日現在 132,937 件, 72.5 億円</li> <li>・ 東北地方整備局が主体となり, 東北農政局及び宮城県とで「宮城県沿岸域現地連絡調整会議」を開催</li> <li>・ ガソリンスタンド稼働率 88%。塩釜油槽所 4月9日復旧。石油製品供給安定化とともに, 急な注文の場合も確実な対応できる体制を構築</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>宮城県震災復興基本方針(素案)を, 昨日宮城県議会特別委員会に報告。</p>
第53回	4月13日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (政府) 記者会見で管内閣総理大臣発言, ①被災住民の要望を尊重すること。②全国民の英知結集。③未来志向の復興。3つの原則発言に沿って「震災復興構想会議」開催。村井災害対策本部長も参加もらい青写真作成</li> <li>・ 死者 7,884 人, 行方不明者 8,025 人。仙台市, 東松島市が調整中であったが, 数字を公表</li> <li>・ 医療チーム総勢 120 チーム。活動ボランティア総数総勢 1,829 人</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・停電世帯約 92,000 戸（停電率約 6 %）</li> <li>・ガソリンスタンド稼働率 89%。建物被害ないスタンド稼働率 100%</li> </ul>
第54回	4月14日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者 8,006 人，行方不明者 7,965 人。行方不明者は仙台市以外の市町村の数字。</li> <li>・震災孤児 5 名増加で総勢 43 名。</li> <li>・活動ボランティア総勢 2,237 人</li> </ul>
第55回	4月15日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市ガス復旧率 89.9%。停電世帯 90,518 件，停電率 6 %</li> <li>・石巻合同庁舎の機能を，4月18日に石巻専修大学へ移行</li> <li>・津波浸水域での応急危険度判定 2 市 4 町で 4 月 15 日～4 月 21 日に実施予定。計 5,700 棟，多賀城市，東松島市，亘理町，山元町，利府町，女川町で実施</li> </ul>
第56回	4月16日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者 73 人増。累計 8,140 人。行方不明者 128 人減少，7,790 人</li> <li>・南三陸町で電気が一部復旧。都市ガス復旧率 95%。ほぼ復旧</li> <li>・応急仮設住宅 3 万戸に対し，着工状況 22%</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>応急仮設住宅，第 1 次～3 次 13 市町 4,266 戸着工済。第 4 次 10 市町 2,264 戸分着工。合計 6,530 戸分。</p>
第57回	4月17日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者 8,189 人，行方不明者 7,771 人</li> <li>・感染症対策，東北大学の指導のもと，保健所を通じて衛生資材を避難所に発布の上，徹底指導</li> <li>・活動ボランティア総数 2,775 人</li> </ul>
第58回	4月18日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者 8,206 人，行方不明者 7,757 人</li> <li>・被害額 2 兆 2 千億円</li> <li>・活動ボランティア総勢 3,690 人。4 月 7 日の余震前の人数まで回復</li> <li>・死因の 96%は津波による溺死</li> <li>・昨日，16 時現在の停電状況 84,760 戸</li> </ul>
第59回	4月19日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災孤児，新たに名取市 6 人判明。震災孤児数 50 人</li> <li>・災害ボランティア活動，4 月 17 日現在で 3,796 人</li> <li>・義援金の申し込み状況，4 月 15 日現在，14 万件，約 88 億円</li> <li>・18 日の停電個数 83,686 戸。約 6 %が停電中で，急ぎ復旧中</li> </ul>

第60回	4月20日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者8,329人、行方不明者は仙台市から報告があり、7,884人。</li> <li>・避難所等の栄養ケア、災害対策基本法に基づき他県の管理栄養士91人の応援を受け、改善活動に従事。</li> <li>・仙台空港、4月21日より国内線8往復。</li> </ul>
第61回	4月21日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水区域外中心に約8割程度の被害調査完了。公共土木施設復旧行程を施設ごとに目標持ち取り組む</li> <li>・死者8,368人、行方不明者7,785人。住家等全壊46,315棟、半壊9,344棟</li> <li>・在来線、東北本線、本日から運転再開。仙台・一関間、岩切・利府間、ほぼ通常ダイヤ</li> <li>・障害者支援、各障害者団体が現地対策本部を設置し、支援活動実施</li> <li>・ボランティア総勢1,962人。2,000人下回った。東北自動車道泉料金所跡地に、兵庫県と兵庫県社会福祉協議会が「ボランティアインフォメーションセンター」開設。仙台駅2階もボランティア情報ステーションあり</li> <li>・宮城復興だより発行。県内4ブロック地域版作成。避難所の方にもお知らせ</li> <li>・ご遺体総数8,539体。引き渡し8,200体</li> <li>・82,735戸停電。754戸減。気仙沼市、石巻市、塩釜市を中心に回復</li> <li>・工業用水道、4月20日泉パークタウン、大和リサーチパークエリア復旧</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>災害復旧事業、発災年含め3年間で復旧が原則だが、事業期間を5年間、平成27年まで延長していただくよう、この場を借りて国に要望させていただきたい。</p>
第62回	4月22日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者8,396人、行方不明者6,955人</li> <li>・「企画部」から「震災復興・企画部」に変更</li> <li>・震災孤児、名取市、石巻市各1名ずつ増加し、53人</li> <li>・破損した冷凍・冷蔵庫の保管物、海洋投入4月11日に開始。3万5千tの3分の1が終了。海洋投入できない2万t～3万tは、山形県の産業廃棄物埋立処分場で最終処分。4月25日から1日100t搬入予定</li> <li>・港湾物流再開、4月20日から松島港大型観光棧橋利用可能。29</li> </ul>

			<p>日から観光船定期航路再開予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空港鉄道，名取駅から美田園駅まで7月末を目途に暫定運行。全線運行再開9月目標</li> <li>・ご遺体 8,239 体引き渡し，引渡率 95.9%</li> <li>・「東日本大震災」警備体制4月21日5,900人，他県特別派遣2,000人従事</li> <li>・感電事故防止の為，「電線注意。」チラシ瓦礫撤去の現場などで配布予定</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>花見シーズンだが観光客が減少し，困っている。災害対策最優先だがゴールデンウィーク等余裕ある人は，県内観光地に行ってほしい。</p>
第63回	4月23日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応急仮設住宅第5次建設15市町2,200戸着工決定。累計9,004戸。4月末まで12,000戸目途に第6次分。予定していた3万戸，8月末までに着工し，9月末まで完成予定</li> <li>・登米市に避難所4ヶ所増加</li> <li>・大潮の時期，満潮と重なる高潮に注意。本日各市町村に警戒対応FAX</li> <li>・東北新幹線1日前倒しで，4月29日仙台・一関間運転再開見込み</li> <li>・離島航路，4月27日から，フェリー1日8往復予定。定員300人可能</li> <li>・宮城県企業局の水道水放射能測定，基準値を下回る結果</li> <li>・三陸道交通渋滞，路面亀裂等で50km規制。大型物資輸送車両低速走行が原因。規制70kmに変更予定</li> <li>・停電戸数80,671戸，停電約5%。工業用水道，73事業所全て送水可能</li> </ul>
第64回	4月25日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日から内閣府大臣小田大臣官房審議官が出席</li> <li>・死者8,492人，行方不明者6,856人。住家全壊46,734棟，半壊9,786棟</li> <li>・今回から避難所，避難者数記載。避難所421施設，避難者数41,036人</li> <li>・本日から，東北新幹線，東京・仙台間臨時ダイヤで運転再開。仙台・一ノ関間4月29日再開見込み</li> <li>・4月1日～4月12日，避難所332ヶ所で栄養アセスメント実施。1人あたり2000kcal目標に対し約9割の避難所で不足。500人</li> </ul>

			<p>以上の大規模避難所，栄養不足等高い傾向。引き続き指導助言，栄養面の手当てできるよう対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日から明日にかけて行方不明者の第3回集中捜索開始</li> <li>・ご遺体累計 8,667 体収容。ご遺族 7,337 体，市町村 1,054 体引き渡し。引き渡し率 96.8%。東京都内斎場での火葬，本日まで。合計 579 体火葬。着衣洗濯・保管作業実施。さらなる身元確認に努めたい</li> <li>・1 か月間の犯罪情勢，交通事故状況，資料どおり。治安悪い状況でない。</li> <li>・緊急消防援助隊，46 隊，154 名で活動</li> <li>・国の東日本大震災復興構想会議のメンバーが，視察に来県する</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>土曜日に東日本大震災復興構想会議に出席。内容は報道のとおり。今後も様々な場面で県として意見伝えていきたい。意見あれば発言してほしい。</p>
第65回	4月26日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害状況，人的被害 10 人増加し，8,502 人</li> <li>・住宅被害，調査中だった気仙沼市分計上，全壊 8,500 棟増加し，55118 棟。半壊は 10,418 棟</li> <li>・避難者，270 人減少の 40,757 人。寄付金約 52 億円</li> <li>・交通関係，気仙沼線前谷地－柳津間 4 月 29 日，阿武隈急行線福島－富野間 4 月 28 日運転再開見込み</li> <li>・水道関係，未復旧率が 9%，一ヶ台</li> <li>・震災孤児数 55 人。南三陸町で 2 人確認され，親戚により保護</li> <li>・ボランティア関係，大雨で一時減少したが 3,200 人活動。義援金，先週末現在約 14 万件，総額 97 億超</li> <li>・商工経営支援課に 3 月 15 日から相談窓口を設置。1,260 件相談あり</li> <li>・サイドスキャンソナー用いて海底堆積瓦礫類調査。今後の瓦礫除去作業に参考に女川湾から調査実施。順次他の海域も</li> <li>・ご遺体累計 8,700 体収容。ご遺族引き渡し，7,351 体，市町村 1,067 体</li> <li>・停電状況，11,486 戸。昨日約 7 万 8 千戸から減った感あるが，停電基準変更。自力復旧目指す戸数計上</li> <li>・学校再開に伴い児童・生徒の安否確認進み，死亡者 149 人。14 人増</li> <li>・石巻市相川小学校は橋浦小学校で授業を行っているが，4 月 26 日より大指林業センターで授業再開</li> </ul>

第66回	4月27日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日、天皇皇后両陛下の行幸啓。南三陸町、宮城野区を赴かれましてご視察、避難所で激励を賜る予定</li> <li>・県内産農林畜産物の放射能調査結果、安全性問題なし。本日より項目に原木しいたけ追加</li> <li>・避難所433施設。石巻市、南三陸町、女川町から大崎市へ二次避難が進み、13施設増加</li> <li>・各部局の被害状況、全体で95億ほど増加</li> <li>・大島汽船、本日から気仙沼ー大浦（浦ノ浜港）間、フェリー1日8往復。旅客船1日5往復で運行</li> <li>・活動ボランティア総勢1,799人。石巻方面活動状況減少傾向</li> <li>・応急仮設住宅、第一陣8市5町1,312戸完成。明日4月28日、塩釜市内伊保石仮設で14時から入居開始</li> <li>・集落排水施設破損等被害額64億円増。港湾関係で22億円ほど増加</li> <li>・災害査定、河川局所管の河川・道路5月10日から実施。発災後初査定概況説明及び現地査定。取材可能</li> <li>・仙台南部海岸31.7kmの災害復旧は国土交通省で実施決定、4月25日から山元海岸、中浜地区に着手</li> <li>・石巻港に地震発生後初の一般貨物船が入港する。4月27日25時00分予定</li> <li>・仙台空港、4月29日から1便増えて9往復。札幌便の増</li> <li>・ご遺体累計8,743体収容。8,526体引渡し。引渡率、97.5%</li> <li>・避難所として使用していた学校が9校減少。82校に</li> </ul>
第67回	4月28日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者87人増8,622人</li> <li>・阿武隈急行線：福島ー富野間 臨時ダイヤで運行中</li> <li>・水道水の放射能測定結果、放射性ヨウ素、放射性セシウムともに不検出</li> <li>・「緊急小口資金特例貸付」受付特設会場本日で閉鎖。今後は社会福祉協議会に窓口。4月13日時点約23億貸付け</li> <li>・国土交通省に要望していた災害査定の特例化、1箇所決定見込額4億円以上から30億円以上に引き上げ</li> <li>・ご遺体8,776体収容。昨日23体。瓦礫中からご遺体収容増えている状況</li> <li>・公立学校等被害739校。被害額1,010億円。新たに2校の再開場所が決まった</li> </ul>

			<p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>昨日、両陛下の行幸啓が実施された。宮城県はじめ、関係機関が昼夜を分かつたず、県民のために対応していることに対し労いのお言葉を頂いた。両陛下のお気持ちを汲んで、しっかり復旧・復興に取り組んでまいりたい。</p> <p>今後、土日と祝日は本部会議開催せず、情報連絡員会議を開催。しかし、即時に県庁に集まれる体制を必ずとっておく。決して休みではない。必要な人員は付ける。復旧・復興が最優先。</p>
第68回	5月2日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 49年ぶりに大型連休中に国会開催。今日、第一次補正予算案が参議院本会議通る見込み。東日本大震災復興構想会議並びに、検討部会開催。被災3県を本日から回り、宮城県は5月4日に予定。国土交通省は5月中に応急仮設住宅3万戸建設を約束。避難している方に一刻も早く仮設住宅に移って頂く</li> <li>・人的被害8,681人。行方不明者6,484人。住家被害、全壊が56,279棟</li> <li>・避難者数37,971人。4月28日から1,500名程減少。被害額は約20億円増え、約2兆2,796億円</li> <li>・4月29日東北新幹線、気仙沼線一部、仙台市営地下鉄の運転再開。JRバス合わせて運転区間を変更</li> <li>・本日県南13市町に簡易型放射能測定器を県大河原合同庁舎本館で配布</li> <li>・高齢者福祉施設等73名死者確認。職員も死者14名確認</li> <li>・震災孤児、名取と気仙沼で1名ずつ新たに確認</li> <li>・歯科保健医療対策、全国介護者支援協議会から診療チーム派遣頂く</li> <li>・災害ボランティア、ゴールデンウィークに入り、29日、30日の2日間で9,398人活動。インフォメーションセンター等利用も大変多くなっている</li> <li>・宮城県に寄せられた義援金145,940件103億2,006万円</li> <li>・津波で打ち上げられた船舶実態調査中。面積的に70%調査完了。3,156隻。漁船45%、トレジャーボート22%、その他不明33%。処理は国で示したガイドラインに基づき実施。基本的に市町村処理、一部宮城県が依頼を受けて実施予定。</li> <li>・水産物の放射能測定結果、4月28日に記者発表</li> <li>・本県の沖合底引網漁業協同組合の所属漁船、5月7日から操業開始</li> <li>・放射性ヨウ素検出されていない。放射性セシウム1サンプルでス</li> </ul>

			<p>ケトウダラ 2.34 ベクレル検出。その他検出されていない。国暫定規制値 500 ベクレル大きく下回る。沿岸漁業者操業の6月前に改めて放射能測定実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災地の無秩序な開発防ぐ建築制限現行法の制限期間2ヶ月を、6ヶ月延長できる特例法が、閣議決定</li> <li>・自衛隊でのご遺体収容、この4日間で47体。入浴関連、1日約5,000人～6,000人入浴支援実施。4月30日から米軍管理シャワー6ヶ所を自衛隊に移管。自衛隊が米軍施設も含めて入浴支援</li> <li>・ご遺体収容総数8,848体。引き渡し状況、8,681体。引き渡し率98.1%。ご遺族7,453体84.2%、市町村引き渡し1,228体13.9%。4月28日から5月1日まで収容の82体発見場所、半数が瓦礫から。行方不明者6,500名程、今後の発見のポイントは瓦礫処理にある</li> <li>・瓦礫処理といかに連動させるか、搜索迅速化のため各市町村単位で瓦礫処理連絡調整部会の設置を事務方から提案されている。本日、自衛隊と、遺体発見可能性が高い場所等の情報交換を行う予定</li> <li>・海上における行方不明者搜索活動を引き続き継続中。4月29日から昨日までご遺体18体収容</li> <li>・海上の漂流船舶、生存者もしくはご遺体の有無の確認、通常航行船舶と衝突の危険。小型漁船の場合経営規模の小さい漁業者の生活再建に繋がる。可能な限り搜索と回収。</li> <li>・停電戸数9,693戸。約4,000戸復旧見通し。本日も約1,100名体制で復旧中</li> <li>・アクセル（仙台港国際ビジネスサポートセンター）応急仮復旧工事進め、4月復旧し5月1日入居可能</li> </ul>
第69回	5月6日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（政府）内閣府男女共同参画会議議員から、復興に男女共同参画視点をと提言あり。事務方で阪神・淡路の参考事例をまとめている。担当部局に説明したい。</li> <li>・死者8,771人、行方不明者6,031人。行方不明者400人以上減少</li> <li>・阿武隈急行線：富野一角田間が5月中運行再開見込。JR代替バス5月9日から志津川まで延長</li> <li>・4月27日に「障害児者当関係団体災害対策連絡協議会宮城県対策本部」が相談窓口を設立</li> <li>・民間賃貸住宅関係コールセンターの説明をマスコミで告知願いたい</li> <li>・ご遺体収容累計8,895体収容。引渡率98.1%</li> </ul>



			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご遺体身元割り出しのため、血縁関係者から資料提供いただく</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>Jリーグが4月29日キックオフ。街中が賑やかに。持続させて復興に繋げたい。</p>
第70回	5月9日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害状況，死者8,796人</li> <li>・阿武隈急行線5月16日から富野―角田間再開見込み。今日から志津川―本吉―気仙沼間JR代替バス運行</li> <li>・被災者受入調整関係，高齢者施設，石巻市グループホーム，色麻の研修施設を借りて受入れ調整</li> <li>・災害ボランティア活動，ゴールデンウィーク期間中の4月29日～5月7日まで39,004人活動</li> <li>・自粛していた県内沖合底引き網漁船が操業再開。昨日，塩釜漁港で初水揚げ実施。今朝，総トン数で73t,1,300万円相当の初競り。沖ハモ38tの600万円，キチジ300ケース260万円</li> <li>・明日から第一次災害査定実施される。改めて記者発表投げ込む。取材等よろしくお願ひしたい</li> <li>・道路施設規制解除状況が増加。木部所管災害廃棄物処理状況資料の通り。道路，河川8～9割の着手率。道路完了率55%。河川は捜索活動と調整行い実施。出水期前に災害廃棄物撤去したい</li> <li>・三陸道，夜間通行止めと，矢本IC終日出入禁止を実施。時間は21時から6時。周知願う</li> <li>・5月6日現在5,616戸停電。停電率0.4%。本日も1,300人規模で復旧作業</li> <li>・公立学校等被害状況，児童・生徒の死亡者前回より4名増え290人</li> <li>・石巻市の渡波小学校，貞山小学校と山下中学校に分けて授業を再開</li> </ul>
第71回	5月10日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者8,833人，行方不明者5,969人。避難者数33,671人。被害額15億円程増，約2兆2,850億円強</li> <li>・寄付金，義援金は資料のとおり。復旧・復興寄付金58億，ふるさと寄付金1億。</li> <li>・空間放射線量，観測10地点中4地点微減，2地点微増，変更なし4地点</li> <li>・児童母子福祉施設の死者3名，職員1名の死亡を新たに確認</li> <li>・災害ボランティア活動状況，ゴールデンウィーク10日間総数41,704人。改めて全国の方々に感謝申し上げたい</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県に寄せられた義援金，5月16日第2回配分委員会開催予定。至急配分</li> <li>・ 生活福祉資金，緊急小口資金貸付，送金完了約34億円。原則5月10日受付終了</li> <li>・ 新たに生活復興支援資金が創設されており，社会福祉協議会で準備が整いし貸付を行う</li> <li>・ 東北経済産業局から資料を頂いている。中小企業の災害対策相談件数が1,445件。金融関係が95%</li> <li>・ 中小企業施策説明会，5月19日に石巻市での開催予定</li> <li>・ 本日から第一回目災害査定開始。自治会館で財務省東北財務局長，国土交通省の災害査定官，宮城県の三浦副知事を含めて災害査定会議中</li> <li>・ ご遺体収容総数8,939体，引き渡し8,808体，引渡率98.5%。内訳，ご遺族に7,524体，市町村へ1,284体</li> <li>・ 公立学校等被害状況，生徒・児童の死者県全体で291名</li> <li>・ 避難先学校数5校減。県全体77校。施設被害額大きく増え約1,020億円</li> <li>・ 当面校舎等使用できない小・中学校，栗原市志波姫小学校を小・中学校に分け授業再開予定</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>災害は地震津波だけでない。この時期，山火事が起こりやすい。油断ができないので注意。</p>
第72回	5月11日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 死者8,837人，行方不明者5,963人。避難者数33,207人</li> <li>・ 被害額2兆2,860億円。被害額には都市ガス，仙台市営地下鉄，JR等が含まれてない。把握しだい計上</li> <li>・ 農林畜産物放射能測定結果，昨日，原乳，野菜，キノコ掲載。不検出。又は基準値大幅に下回る状況</li> <li>・ 市町村保健センター等被害判明。医療機関等被害額2億2,400万円増額</li> <li>・ 震災孤児，女川町で新たに1名確認。現在，親戚等により保護</li> <li>・ 災害ボランティア，連休終わり減少。今後どう維持していくか課題</li> <li>・ 国民健康保険及び後期高齢者医療保険等，窓口での一部負担金，5月末まで猶予，又は免除。改正で6月まで現在と同じ扱い。7月1日以降，各市町村発行の免除証明書持っている方，来年2月末まで一部負担金免除</li> <li>・ 免除証明書の発行困難な市町村精査中。取り扱いが明らかになり</li> </ul>

			<p>しだい、マスコミ周知をお願いしたい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応急仮設住宅供給事業者、一般社団法人すまいづくりまちづくり協議会連合会で公募実施。応急仮設住宅供給業者リスト提供あり。管内全市町村送付済み。輸入住宅資材応急仮設住宅の公募結果、応募 322 件、うち供給可能適合件数 204 件、県応急仮設住宅公募結果、応募総数 156 件、うち要件適合件数 77 件、市町村送付済み</li> <li>・ 本日、建築制限の特例法に基づき、5月12日から9月11日まで延長</li> <li>・ 仮設店舗等建設見込みの市町に意見を聞きながら、街づくり方針に適応した建築物を許可。解体撤去容易が条件。街づくり計画進捗状況等により許可対象拡大等も検討。最大11月11日まで建築制限適応</li> <li>・ ご遺体収容、累計 8,955 体、引き渡し 8,827 体、引き渡し率 98.6%</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>昨日、政府の東日本大震災復興構想会議に出席。終了後、阿久津政務官、市村政務官と色々調整した。落ち着きを取り戻しつつあるが、被災された方まだまだ大変苦しい生活。自分の苦しみの様に受け止め、しっかり対応して参りたい。皆さんよろしくをお願いしたい。</p>
第73回	5月12日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (政府) 発災 2 ヶ月。問題が具体化し、様々な課題。1 日も早い復興、避難者の方々に早く安心した生活取り戻して頂くこと。その為の目標共有し、取り組んで参りたい。また、災害対策を実施しやすいよう政府現地対策本部を設置している。遠慮なく相談頂いて具体的な課題解決が大切</li> <li>・ 応急仮設住宅第 6 次まで着工、15 市町 130 団地 11,053 戸。うち 30 団地 3,081 戸完成。第 7 次着工予定 1,677 戸建設決定。合計 15 市町 161 団地 12,730 戸。南三陸町要請で隣接登米市のイオン南方店跡地に 200 戸建設予定。59 戸は津山町横山住宅。女川町の 200 戸は石巻バイパス用地に。イオン南方店は 3 例目</li> <li>・ 県北部沿岸部は安全な建設用地の確保困難。内陸部市町村や企業等から用地提供申出あり。被災者の地元に残りたい心情は十分理解の上、いったん内陸部に移る決断頂ければ、より安全スピーディーに建設できる。必要な応急仮設住宅必ず準備する。他市町入居を視野に入れ、是非ご理解お願い申し上げる</li> <li>・ 死者数 8,839 人、行方不明者 5,892 人。被害額若干増、2 兆 2,860 億円強。</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策本部2階講堂に設置中だが、天井被災。復旧工事予定。5月14日土曜日から5階危機管理センターに移動。13日金曜日夕方以降移動作業</li> <li>・石巻線5月19日再開見込。仙台から東北本線小牛田經由前谷地・石巻が通ずる。</li> <li>・海水の放射能測定結果。当初予定のとおり福島原発から60km, 80km, 100kmの、三点の深さ10mの海水を採取し分析。いずれの地点も放射性ヨウ素, 放射性セシウムとも不検出</li> <li>・雨が大変心配。特に河川関係、堤防かなり弱っている。川の中にまだ瓦礫が存在、断面が十分確保できない所も。加えて地盤沈下</li> <li>・自衛隊で行方不明者捜索実施。生活支援の入浴支援以外は若干減少傾向</li> <li>・ご遺体収容, 累計8,963体。うちご遺族へ7,546体, 市町村へ1,291体引き渡し。引渡率98.6%</li> <li>・5月16日に県警災害警備本部に、新たに行方不明者対策部, 被災地治安対策部を立上げる。退職者以外凍結されていた県警人事異動を明日13日付けで行う。この機会に行方不明者対策と被災地の治安の確保の二本柱が最重点であると、部内外に明らかにする</li> <li>・行方不明者対策, より重点箇所へ派遣する為、検死班のご遺体発見場所等情報共有, 発見可能性高い地域を詳細に整理して捜査班に繋げ、遺族支援班や行方不明者班は、ご遺族対応又は行方不明者相談ダイヤルで得た膨大な情報を精査。可能な限り踏み込み、発見されたデータ通報して行きたい。合わせて、身元資料班が明日からDNA資料受付を本格的に行う。業務をしっかりとコーディネートし、行方不明者対策をより強力で推進。沿岸各9署も同様業務を行い、縦横の連携強く</li> <li>・公立学校等被害状況, 生徒・児童の死者が県全体294人。3名増加</li> </ul>
第74回	5月13日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 本日、復興業務法案が閣議決定され、国会に提出される。基本理念, あるいは実際に講じる措置, 負担や復興対策本部等再生盛り込んだもの。あわせて内閣法及び内閣設置法の一部改正法案。震災復興にあわせ国務大臣あるいは副大臣, 政務官等増員をお願いする法案が閣議決定, 国会提出される。2点目, 被災者向け「生活再建ハンドブック」「事業再建ハンドブック」取りまとめた。被害に遭われた個人の方, 事業主の方が, 事業・生活再建にどのような取り組みがあり得るのか, 今回の第一次補正予算内容に則し説明。首相官邸HPに紹介。来週以, 降順次各都道府県・</li> </ul>

			<p>コンビニエンスストア等で配布。3点目、昨日東京で先般成立した財特法の内容説明会が開催された。今後宮城県においても説明できるように県と準備を進めている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者 8,840 人。行方不明者は 5,889 人。避難者数は 32,849 人</li> <li>・被害額、土木部で増加し、トータルで 2 兆 2900 億円程</li> <li>・地元民放各 4 局使い、震災に関するテレビCM放送予定。自動車税納税通知書の送付が 8 月以降、5 月 30 日有効期限を 10 月 30 日まで延長。もう一つは下水道節水を呼びかける。自動車税は 63 回、下水道 61 回</li> <li>・災害ボランティア、なんとか 2,000 名程の方活動</li> <li>・公共土木施設災害査定 5 月 10 日～12 日実施された。査定簡素化に配慮頂き、非常にスムーズ。県分 95 件 11 億 4 千万程。市町村分 15 件 1 億 2300 万程。合わせて 110 件 12 億 6 千万程の査定結果。査定率 94.4%</li> <li>・出納局から県発注工事等の前金払い特例措置お知らせ。今後復旧・復興に向けた各種工事等が本格化。工事等受注者の着工資金確保や労働者又は下請け企業等への早期支払い促進等により、円滑な事業実施を図る観点から、県発注工事等前金払い割合を引き上げる。請負代金額 150 万以上の建設工事は従来 4 割以内を 5 割以内、測量や設計等建設関連業務は従来 3 割以内を 4 割以内とする。中間前金払いの対象拡大として、従前請負代金額 500 万以上且つ工期 100 日以上を請負代金額 300 万円以上に改正。これら特例措置は国では 4 月下旬から既に適用。本県も国に準じた</li> <li>・ご遺体 8,973 体収容。引き渡し 8,844 体。引渡率 98.6%。内訳はご遺族 7,551 体 (84.2%)、市町村 1,293 体 (14.4%)</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>昨日、鳴子の 2 次避難所を激励。避難の方、非常に元気で大変安心した。1 次避難所おられる方、2 次避難場所等に移って頂けるよう声掛け。来週から、基本的に月・木曜日週 2 回会議開催。状況により回数を増やす。</p>
第75回	5 月 16 日	10 時 00 分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿武隈急行線、本日福島－槻木間臨時ダイヤ全線運転再開</li> <li>・福祉施設被害、県立社会福祉施設は介護保健施設で若干増加、民間等の社会福祉施設も介護関係施設で 37 箇所新たに判明し、120 箇所。被害額が約 51 億円増額、総額 324 億円</li> <li>・震災孤児、新たに気仙沼市で 1 人確認。累計 67 名</li> <li>・災害対策基本法に基づく医師応援派遣、南三陸町は保険診療に切り替え、既に医療救護班撤収</li> </ul>

- ・東北自動車道にあったインフォメーションセンター、5月15日停止
- ・民間賃貸住宅借り上げ応急仮設住宅、市町村申請件数等取りまとめている。プレハブ住宅の建設と平行して取り組み。これまで自ら契約した民間賃貸住宅入居は対象外だったが、今回は要件合致すれば県が随時契約を切り替え、市町村窓口で申し込み受け付ける。国からも県名義に切り替えた場合は、災害救助法適用と通知頂いた。不動産業界等調整し、5月分から切り替えで事務手続きを進める。契約件数は市町村から申請件数5月13日現在1,562件。うち、契約済みで切り替え予定世帯140件。仙台市も5月まで郵送申し込み。新規入居を含め、申し込みは相当数の見込み。手続きは若干時間がかかる。市町村窓口で精力的に受付、事務処理を進めている
- ・農林水産被害額関係9,379億円、うち津波被害は約1.5億円増加
- ・農地・農業用施設の部分で、用排水路等破損し1.7億円ほど増加。林地崩壊箇所48箇所から59箇所と箇所数増加し3.5億円ほど被害額増加
- ・治山施設関連、海岸の防潮堤防の被害が拡大し1.5億円ほど被害額増額
- ・本日から県庁1階玄関ロビーで5日間「復興へ頑張ろう！宮城物産展」開催。復興への取り組みの一環。県産品販売促進等と生産意欲の向上を図る。県内地場野菜、農水産加工品約20ブースで対面販売。
- ・土木、本日から第2次災害査定。155件内陸部を中心に査定して頂く。道路関係、先週金曜日からは国道398号女川町の崎山付近で法面崩壊の恐れ、全面通行止め。水曜日までに解除したい
- ・自衛隊による給水が若干減少傾向気味
- ・ご遺体収容9,001体。引き渡し、8,870体。ご遺族7,577体、84.2%。市町村1,293体、14.4%
- ・行方不明者関係、本日、臨時県下署長会議開催。本部長から発見に全力をと、各署長に、ご家族の心情に対し探し尽くすまで探すことを指示
- ・ご遺体身元特定のDNA採取、5月13日から受付開始。使用歯ブラシ、指紋採取に日記帳等の提供多数。受付総数405件。DNA採取872名。自ら報道等で知り、駆けつけての状況
- ・海上保安庁で漂流船舶の確認、行方不明者の捜索も兼ね昨日までに458隻の船舶を捜査。いずれも無人を確認。石巻の追波川に小型漁船が漂流、調査の結果使える船。石巻に曳航して引き渡した。

			事業者支援の措置
第76回	5月19日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 政府災害対策本部の阿久津本部長代行・政務官, 16日～18日まで沿岸部12市町首長と意見交換。県災害対策本部も同行。国の取り組み説明と, 現段階の各市町状況確認・ご要望等を承り課題等が出てきた</li> <li>・死者8,883人。行方不明者5,512人。避難所, 避難者数400施設30,997人</li> <li>・被害額, ライフライン関係の数字が計上。540億円程増加。2兆3,500億円。一部精査中のため, 調査完了次第逐次計上</li> <li>・石巻線前谷地ー石巻間5月19日に運転再開見込み</li> <li>・義援金15万件申請, 約123億円。5月16日第二回配分委員会で配分方法決定</li> <li>・県と東北労働金庫が提携。被害勤労者へ融資制度を創設。融資金額最高200万で金利年0.8%</li> <li>・牧草の放射能測定結果, 放射性ヨウ素は基準値を下回った。放射性セシウムは丸森町, 大崎市で基準値をオーバー。牧草の給与を控えるよう指示。原乳はじめ農産物の放射能測定結果, 問題なし</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>応急仮設住宅第1次～第7次着工分15市町161団地12,793戸着工。うち45団地5,164戸完成。第8次着工予定1,109戸建設を決定。合計15市町190団地13,902戸。建設必要戸数見直し, 避難者数等を基に多め3万戸としてきたが, 被災市町に対する要望調査結果を踏まえ, 7,000戸減の23,000戸に見直し。第8次着工予定で7市町要望戸数到達。今後必要戸数は8市町分の約90,000戸。</p> <p>必要戸数減少要因は, 自宅補修, 公営住宅入居他, 応急仮設住宅として民間賃貸借り上げ住宅への入居申込み増加想定。また, 4月28日から順次仮設住宅入居中。市町村での被災した方々への入居希望把握が, より実態に沿った。必要戸数減少に伴い, 60%を超える供給に目途。完成目標大幅な前倒し可能。</p> <p>沿岸部被災地近く中心に建設を進めてきたが, 北部沿岸部はライフラインの整備された安全な用地確保が目標達成に向けた課題。隣接市町村を中心に多くの市町村や企業等から内陸部の建設用地提供申し出頂いている。被災者の地元に残りたい心情十分理解しているが, 復興に向けいったん内陸部に移る決断を頂ければ, より安全な応急仮設住宅を迅速に建設でき, 8月中旬完成も十分達成可能。用地選定の課題がある一方, 夏の暑さ向け健康を考え, 完成目標前倒して。スケジュールは更に詰めていく。5月末日目途に被災市町に</p>

			<p>再度意向調査。</p> <p>新聞に「瓦礫処理全額補助金で」と出ていたが、誤解があつては困るので少し補足。昨日、衆議院の視察団来られた際、私から瓦礫処理を全額補助金でと話した。第1次仮置き場まで移送する分全額補助金でお願いしたいと要望。第1次仮置き場以降、国直轄事業でお願いしたい意向は変わらず、要望は引き続き国にしている。2次仮置き場以降も全額補助金でと言った訳ではない。環境省の方、しっかりとお伝え頂ければと思う。</p>
第77回	5月23日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 5月20日緊急災害対策本部において、当面(3ヶ月間)の取り組み方針決定。被災者の生活平常化に向けて、宮城県、各市町村と共に実現に向け努力していきたい</li> <li>・死者数, 8,912人。行方不明者, 204人減5,307人。避難者数921人減30,076人。被害額2兆3,485億円</li> <li>・寄付金, 5月18日時点で約4,000件の申請。約65億円</li> <li>・仙石線東塩釜－高城町間5月28日に運転再開見込み。市営地下鉄被害額下方修正, 12億5千万円</li> <li>・義援金申請が約15万件, 約144億円</li> <li>・仙台塩釜港の放射能測定結果安全と判断。石巻港も今後測定を行う</li> <li>・自衛隊での救援物資有効活用紹介。救援物資の滞留対策としてカタログを作成。宮城県を通じ各市町村に紹介。配布会実施を促進していく</li> <li>・発災2ヶ月間, 刑法犯, 重要犯罪減少傾向。発災後10日以内発生が殆ど</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>土曜日に中国首相と韓国大統領案内の際、農産物輸出, 港利用, 観光地訪問の3点お願いした。マスコミ報道通り, 前向きな発言と受け止めている。</p>
第78回	5月26日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 5月10日ジュネーブで国際防災会議が開催された。140数カ国からの支援にお礼, 今後の決意を表明し, 2015年第3回会議の日本での開催主張。東日本大震災は戦後生まれの国民に忘れられない日。国民が団結し対策している姿は, 諸外国から大変なインパクトがあったようだ。この2ヶ月間の道路, 鉄道, 空港等復旧ぶり, 日本の技術力, 国力を海外に改めて発信した。今後も村井災害対策本部長指導の下, 引き続き頑張ろう。</li> <li>・死者数8,986人。避難者は応急仮設住宅完成に伴い減少。27,753</li> </ul>



			<p>人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害額は若干増え， 2兆5,740億円</li> <li>・放射能関連， 5月24日以降測定値上昇。仙台市他4地点で測定方法をサーベイメーターに変更し，地表に近い位置での測定になった為。水道水の放射性物質の測定結果，不検出</li> <li>・震災孤児84人に増加</li> <li>・民間賃貸住宅借り上げによる応急仮設住宅の入居予定は2,585件</li> <li>・5月25日に気仙沼管内でパスポート窓口を再開予定</li> <li>・集落排水施設139億円増。漁港施設，海岸保全施設を追加し2,292億円増。被害調査の進行により精査されたことが要因</li> <li>・漁業再開に向けたサンプリング調査も安全と判断。資料調整中で，午前中に投げ込む予定</li> <li>・県内牧草調査結果，ヨウ素不検出。セシウムは丸森町，新たに七ヶ宿町，栗原市検出。乳用牛及び肥育牛に対する許容値上回る結果。引き続き県内全域乳用牛及び肥育牛に牧草供与及び放牧の自粛要請</li> <li>・仙台空港6月1日から1日14往復。国際定期便，7月25日再開目標。国際チャーター便6月下旬目標</li> <li>・自衛隊食料支援，3日間で13万2千食。3日間で入浴支援，18,000人</li> <li>・ご遺体9,097体収容。引渡9,006体，内訳，遺7,631体。市町村1,375体</li> <li>・5月13日からDNA採取を開始し，現在2,000件強</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>仙台塩釜港へ5月27日にパナマ船籍が入港予定。外航船寄港は，放射性物質影響で入港避ける動きあるが，測定結果安定。この機会が増えることを期待。仙台塩釜港から6月8日に輸出貨物積載コンテナ船第1船出港。</p> <p>応急仮設住宅建設状況，第9次着工分含め計214団地14,939戸の見通し。初の高齢者用グループホーム型福祉仮設住宅を仙台市に2棟9室着手。全員入居に全力で取り組む。</p> <p>放射性物質測定結果報道マスコミにお願い，異常あると速やかに報道するが，問題ない場合報道したがない。県内外に安全安心を積極的に報道して。</p>
第79回	5月30日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 5月28日に中央防災会議が開催された。東日本大震災時の津波を科学的に検証し，今後の土地整備や津波対策に活用</li> <li>・死者9,013人。被害額は前回より約300億円増額，2兆6,046億</li> </ul>

			<p>円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J R等被害額，政府投資銀行計算で6兆円を超える見込み</li> <li>・ 寄付金，現在約66億円。義援金，5月25日時点15万4千件，152億円</li> <li>・ 仙石線矢本－石巻間7月運転再開見込み</li> <li>・ 商業，市町村所管の観光施設等被害額増加。県施設の被害額はほぼ確定</li> <li>・ 6月の漁業再開に向けた水産物の放射能測定結果，安全な数値</li> <li>・ 6月1日以降の東日本大震災に伴う県発注工事等，特例措置。大きく3つポイント。手続きの簡素化・迅速化として総合評価落札方式の施行計画等提案を省略した「特別簡易型」を導入。次に，被災者等雇用促進，受注機会拡大として，総合評価落札方式に，施工地の地元企業に加点評価する「特別簡易型」導入。最後に低入札対策の徹底として，失格判断基準を見直し，より適正な競争環境の形成と品質の確保を図る</li> <li>・ 現在303戸（停電率0.03%）停電，南三陸町本日復旧予定</li> </ul> <p>【知事指示事項】</p> <p>大雨洪水警報並びに土砂災害警戒情報発令中。土砂災害・河川の増水に注意。県民には市町の避難勧告に従って頂きたい，マスコミ報道よろしく。</p>
第80回	6月2日	10時00分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 死者数，9,034人。行方不明者，5,067人。避難者1,000人減，25,489人</li> <li>・ 各部被害額，農林水産部関係約300億円増額し，合計2兆6,382億円</li> <li>・ 離島航路，大島汽船が8往復になった。震災前は12～13往復</li> <li>・ 民間賃貸借り上げ住宅入居決定は，2,805件</li> <li>・ 応急仮設住宅建設状況，要望戸数に対する着工戸数残り7,000戸程度。石巻市気仙沼市，山元町，女川町，南三陸町が残っている。山元町は町で発注。亘理町は追加要望があった</li> <li>・ 自衛隊での食料と給水支援は緩やかに減少。支援物資カタログが出来上がった</li> <li>・ 県警では，1ヶ月ぶりに収容数20体を超えた。台風の影響で遺体が浮揚した可能性あると推測</li> <li>・ 震災後飲酒運転が昨年に比べ倍増。死亡事件1件発生。半数は被災地か近接地域居住者。被災によるストレスが原因と推測。事故が多発</li> </ul>

			<p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>応急仮設住宅，第9次分まで15市町213団地14,974戸着工。うち，139団地11,172戸分完成。5月末まで11,000戸の完成目標達成。第10次分879戸追加予定。第10次まで合計15市町，214団地15,853戸。離島も建設進めている。気仙沼市大島2地区に63戸完成。塩釜市浦戸諸島2地区にも27戸着工建設中。</p> <p>女川町出島に要望あるが，連絡航路とライフライン復旧後着工予定。岩手，宮城，福島で目標到達は宮城県のみ。国土交通省政務官からお誉めの言葉頂いた。</p> <p>東内閣府副大臣より，政治的信念に基づき辞表提出と連絡入った。辞表受理された場合，政府に新たな要請が必要と考えている。</p>
第81回	6月6日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部局被害額，都市ガス関係約700億円増額。私立幼稚園や学校等被害額約114億円を計上。都市ガス，通信関係被害額約310億円を計上。水道施設，火葬場関係等の被害額約260億円を計上</li> <li>・6月3日発表牧草の放射能検査，石巻市，東松島市，女川町で解除</li> <li>・応急仮設住宅，第10次で70%の目途。8月中旬完成目標に市町と調整</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>政府現地対策本部長，東内閣府副大臣からのメッセージを紹介する。「色々ご心配をおかけしてしまい，大変申し訳なかった。震災対応を迅速に対応する為の決断であった。引き続き現地対策本部長職を全うし今後も復興・復旧に向け頑張っていきたい。」とのことである。</p> <p>この会議で緊急調整することが少なくなった為，次週より週1回の開催，基本水曜日10時00分とする。</p>
第82回	6月15日	9時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 国会で復興法案審議中，成立見込み。被災地全面的に支援していく。国際防災会議に政府代表で参加。開催国スリランカは「2004年インドネシアの津波被災地は，ほぼ復興。」と言っていた。宮城県も必ず復興する。発災3ヶ月経過，復興への仕組みはできつつある。しかし制度はできても運用するのは人。国，県，市町村が連携しなければ。宮城県は村井災害対策本部長のリーダーシップで仕事に取り組んでおり，敬意を表する。</li> <li>・死者9,079人。行方不明者4,749人。避難所避難者数363箇所21,420人</li> <li>・今回から部局ごと報告から被害項目ごと報告に被害額様式を修正</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台空港アクセス鉄道美田園一名取間8月下旬運転再開。塩釜市営汽船寒風沢－朴島間暫定ダイヤ</li> <li>・避難所の第2回栄養調査を実施。資料を参照願いたい</li> <li>・ボランティアは総勢1,510人。義援金177億円</li> <li>・昨日、東京電力に対する損害賠償請求の宮城県協議会を設置</li> <li>・自衛隊での食料支援25万5千食。入浴支援44,800人</li> <li>・遺体引き渡し率99.9%。860体を東京都で火葬受け入れ。6月18日から集中捜索3日間実施</li> <li>・放射能測定、浄水場発生土と工業用水道の原水を項目に追加</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>応急仮設住宅、第10次まで15市町239団地15,804戸を着工、157団地12,117戸が完成。第11次着工予定1,297戸が決定。約75%の供給に目処。建設の進捗状況、10市町で要望戸数に達し、今後建設必要戸数は約5,700戸。8月中旬全戸完成目標に引き続き被災市町と連携。</p> <p>水道水から放射能不検出、飲み水問題ない。</p>
第83回	6月22日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路無料開放に伴い、三陸自動車道等一層交通渋滞発生。マスコミで再度報道願いたい</li> <li>・死者数は88人増加、9,167人。行方不明者は44人減少、4,705人</li> <li>・被害額は約1,600億円増額、3兆3,733億円。電気通信関係増額</li> <li>・復旧・復興寄付金68億7,400万円</li> <li>・震災孤児、石巻で2名増加し、累計108人</li> <li>・災害ボランティア、土日は3,000人以上活動。義援金180億8,400万円</li> <li>・土木関係被害記述を変えた。仙台市所管分、国直轄分等追加。結果、約1兆円に達する状況</li> <li>・応急仮設住宅263団地17,026戸を着工。163団地12,877戸が完成</li> <li>・震災後100日集中捜索の結果、ご遺体計11体収容</li> <li>・身元不明者着衣等画像、ホームページ掲載。1日平均1,000件のアクセス</li> <li>・(政府)一昨日復興基本法成立、宮城現地対策本部が設置されることになった</li> </ul>
第84回	6月29日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府復興基本法に基づき、被災各県に震災復興対策本部を設置することに。6月30日に末松復興対策本部長が来県。初の震災</li> </ul>

			<p>復興対策本部会議予定。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者9,189人。行方不明者4,642人。被害額41億円増額, 3兆3,774億円</li> <li>・仙石線矢本～石巻間7月中旬運転再開。仙台空港アクセス鉄道美田園～名取間7月23日運転再開</li> <li>・7月4日から, 瓦礫・衛生等に関する電話相談窓口を設置予定</li> <li>・震災孤児は3名増加, 累計111人</li> <li>・義援金, 6月24日に第3回配分委員会を開催</li> <li>・仙台空港7月28日から国内線定期便, 10月2日から仙台～グアム間再開</li> <li>・応急仮設住宅, 290団地17,800戸着工。うち209団地13,913戸完成。第13次着工予定866戸建設を決定</li> <li>・自衛隊での食料, 給水, 入浴支援減少傾向。給水支援6月27日終了</li> <li>・プールの水の放射能調査, 1回目49校で不検出。今後第2・3回と継続して調査実施予定</li> </ul>
第85回	7月6日	10時00分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 震災に関する第二次補正予算案7月5日に閣議決定。原子力関連2,700億円, 被災者支援3,700億円, 復旧復興予備費8,000億円, 地方交付税5,400億円などトータル約2兆円弱。うち, 生活再建支援制度の拡充, 国と地方の負担割合5対5から8対2とし, 2の地方負担分は特別地方交付税で措置する。</li> <li>・死者9,203人, 行方不明者4,613人, 全壊66,255棟, 半壊50,854棟。避難者14,889人。被害額3兆3,814億円</li> <li>・被害額10億円増加。生活再建支援金の申請状況10,000件増加</li> <li>・仙石線の矢本～石巻間7月16日運転再開</li> <li>・7月4日にがれき衛生相談窓口設置。昨日まで8件の相談</li> <li>・放射能測定方針を6月29日に策定。市町村に対する説明及び配布</li> <li>・高齢者施設被害は二次調査が終わり23億円増加</li> <li>・災害孤児1人増え112人。震災孤児等の支援のための寄付口座を開設する</li> <li>・義援金総額191億円。災害ボランティア活動, 土日2,000～3,000人強活動</li> <li>・被害畜産施設の関係約3億円増</li> <li>・冷凍冷蔵内水産物の海洋投入, 7月1日に終了。合計7万トン。石巻魚市場7月12日再開</li> <li>・山元町山下地区, 7月1日から建築制限を実施</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛隊生活支援，給食支援南三陸町で終了。気仙沼市，女川町等は継続実施中。入浴支援は南三陸町，亘理町で終了。気仙沼市，女川町，石巻市，東松島市，山元町で継続実施中</li> <li>・9,293体遺体収容。引渡9,278体。内訳，親類7,724体，市町村1,554体</li> <li>・高速道路の落下物が多く前年比三割増，物損事故につながっている</li> <li>・避難先となっている学校数は全体で6校減り62校</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>震災で親を失った子ども達に「東日本大震災みやぎ子ども育英募金」を開設する。子ども達が希望進路に行けるよう寄付したい声もあり，災害復興寄付金と別に口座設けた。使用方法は，御意見いただきながら検討。御支援よろしくお願ひしたい。</p> <p>応急仮設住宅は8月中旬全戸完成のため6月末まで用地確保しなければならなかった。気仙沼市除き確保できた。第14次着工で97%目処。希望者全員入居できるよう取り組んでいく。</p>
第86回	7月13日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 県庁11階に緊急災害現地対策本部と復興現地対策本部が設置されている。設置の法律根拠は異なるが現地対応は同じ。7月11日月曜日から体制見直し，具体的には復興現地対策本部の本部長以下が現地災害対策本部の役職を兼ねる。本部長は末松内閣副大臣，事務局長は沢田東北地方整備局副局長</li> <li>・死者9,213人，行方不明者2,803人，全壊66,996棟，半壊54,905棟。避難者13,235人。被害額3兆4,250億円</li> <li>・生活再建支援金の申請状況は基礎支援金51,261件</li> <li>・7月11日から全市町村における空間放射線線量率の定点測定を開始</li> <li>・震災孤児支援のための寄付，3億円。義援金総額は198億円</li> <li>・災害ボランティア活動状況，7月11日時点で1,000人</li> <li>・漁港，漁場の廃棄物処理，7月11日時点で27県営漁港全て終了。石巻魚市場7月12日再開。</li> <li>・自衛隊食料支援，18,699食，入浴支援は，18,607人</li> <li>・震災により延長していた運転免許更新期間，8月31日まで</li> <li>・暑くなってきている。避難所や応急仮設住宅で生活している方々の健康や衛生面が心配</li> </ul>
第87回	7月20日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 本格的な夏に向け，暑さ対策強化。避難所に扇風機を設置する。大規模避難所には，エアコンを設置したりフレッシュルー</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>ムを設ける</li> <li>・今年熱中症が昨年の数倍。避難所の暑さ対策に配慮されたい</li> <li>・暑さ対策、先週、市町村に文書を通知済み。台風の動きに注意されたい</li> <li>・死者数 9,219 人、行方不明者数 2,565 人、避難者 12,140 人、避難所 283 施設</li> <li>・JR代替バス、松島から矢本に区間変更</li> <li>・シーパル女川は、7月25日から再開予定</li> <li>・放射能測定、数値落ち着いている。昨日、福島原子力発電所事故対策本部設置。</li> <li>・子ども育英募金は申請件数が144件、募金額は3億円超</li> <li>・第三回栄養調査を実施</li> <li>・災害ボランティアは週末に3,000人超</li> <li>・民間賃貸契約は20,257件、義援金は200億円弱</li> <li>・漁港のがれき処理概ね終了予定、漁場5分の2作業終了。海底堆積物を調査中。</li> <li>・稲わらを県内全域家畜に与えること自粛、飼育牛の出荷の自粛要請</li> <li>・7月23日からアクセス鉄道仙台～美田園駅間再開。7月25日から仙台空港国内定期便が再開</li> <li>・応急仮設住宅、第15次では2,722戸着工、すべての用地を確保。累計22,516戸。すべて着工</li> <li>・自衛隊給食支援女川町のみ。入浴支援は残り11ヶ所である。今週から今月末まで実施しているハエの防除、残り10市町</li> <li>・9,329体ご遺体収容。ご遺族引渡7,732体、市町村1,577体。引渡後身元判明率51.3%</li> </ul>
第88回	7月22日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 政府は震災復興基本方針策定に向け作業を進めている。7月19日には知事にお招きいただき被災市町村長との意見交換を行った。作業大詰め</li> <li>・死者数 9,258 人、行方不明者数 2,452 人、全壊 69,137 棟、避難所 225 箇所、避難者 10,719 人</li> <li>・自衛隊撤収 8月1日。撤収式を10時30分から県民ロビーで行う。米軍参加予定。</li> <li>・アクセス鉄道 7月23日に運転再開。シーパル女川 7月25日暫定運行</li> <li>・稲わら給与牛肉の流通状況調査 20頭分判明</li> <li>・震災孤児 5人増加、117人。育英募金、総額6億6千5百万円</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・義援金総額 204 億円</li> <li>・第2回港湾ビジョン策定委員会を開催</li> <li>・自衛隊給食 3,500 食, 入浴 11,000 名, 女川町, 石巻市は今日まで。気仙沼市は明日終了。防疫は要望箇所について終了</li> <li>・ご遺体収容 9,359 体, 引渡は 9,338 体。ご遺族 7,738 体, 市町村 1,600 体</li> <li>・8月1日に自衛隊の撤退式を行うので, 多くの関係者の出席を望む</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>3月11日以来, 沿岸13市町で災害派遣活動していた自衛隊, 7月31日までに活動終了。比類なき崇高な活躍をされたことに対し, 衷心より感謝申し上げる。</p>
第89回	8月3日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 7月29日に政府の震災復興基本方針策定。引き続き, 県, 市町村と連携を密に対策実施</li> <li>・応急仮設住宅, 要望戸数に対し今回の第16次525戸で100%。9月中旬に全て入居可能。石巻市総合運動公園は, 市の要望により718戸全て建設中止</li> <li>・死者数9,275人, 行方不明者2,437人, 避難者1,824人減少し8,895人</li> <li>・寄付金742百万円。ボランティア数, 3,000人弱。義援金205億円</li> <li>・漁港漁場の瓦礫, サイドキャスター調査を実施。7月末までに完了</li> <li>・稲わら供与牛の出荷停止, 約6千戸に周知</li> <li>・空港, 9月25日から仙台ソウル便運行。7月25日から1階と2階のターミナルビル供用開始</li> <li>・応急仮設住宅必要戸数を精査, 約500戸減少。286団地17,276戸完成。16次までで398団地, 22,054戸, 調整中はすべて着工に移行。9月中旬すべて完了。女川町の二階建ての建設は遅れる</li> <li>・遺体収容9,368体, 引渡数9,363体99%, ご遺族7,743体, 市町村1,620体</li> <li>・5月1日～7月31日被災地ニーズ把握を実施。石巻市で警戒警ら要望多く, 次いで応急仮設住宅関連の行政ニーズ多い</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>災害対策長期化。職員の疲れ蓄積しつつあると報道があった。健康管理十分配慮されたい。</p>



第90回	8月10日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 死者9,295人,行方不明者2,425人,全壊は70,827棟,避難者7,950人</li> <li>・ 被害額,住宅関係3兆2,578億円で計6兆7,173億円</li> <li>・ 震災孤児119人。子ども育英募金7億7千万円</li> <li>・ 義援金207億円</li> <li>・ 放射能関係,最新情報本日公表予定。米の予備調査,32市町村完了予定</li> <li>・ ご遺体9,389体収容。引渡数9,382体,ご遺族7,748体,市町村1,634体。今日明日1,300人体制で重点地区搜索</li> <li>・ 避難先学校は3校減り51校。東松島市と気仙沼市で閉鎖</li> <li>・ (政府)8月12日仙台第2合同庁舎で政府現地対策本部会議を開催し,県・市町村へ,先に決定した復興基本方針を説明。がれき処理に係るキャッシュ遅れ,改善され石巻市に632億円振り込まれた</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>災害対策本部と直接関係しないが,電力需要がひっ迫しており,一層の節電をお願いする。</p>
第91回	8月24日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (政府)肉牛出荷停止一部解除。8月27日に放射性物質対策,徐染処理の形が政府で示される見込み</li> <li>・ 死者9,315人,行方不明者2,350人,避難者は6,137人</li> <li>・ 被害額2,100億円増,住宅関係2万6千棟分増えた結果,6兆9,287億円</li> <li>・ 放射性物質測定報告,水道関係変化なし。岩沼市玉崎浄水場発生土から27,000ベクレル検出。処分方法決定まで適切に保管管理。空間は微減。学校,保育所等校庭の1,627施設0.76~0.04ベクレル,基準以下</li> <li>・ 孤児1人増加120人。寄付金8億4百万円</li> <li>・ 義援金209億円,71.8%支給</li> <li>・ 高等技術専門校における特別訓練コースの訓練を開始</li> <li>・ 漁港等瓦礫処理9月までかかる。漁場60%完了。牡鹿魚市場9月初旬再開,七ヶ浜9月仮設市場設置</li> <li>・ 住宅関係災害査定43.5%完了。9月1日から住宅局所管災害公営住宅の住宅減失戸数査定を実施</li> <li>・ 仙台空港,平成24年3月25日仙台上海北京線再開。3月27日大連経再開</li> <li>・ 応急仮設住宅の完成率は89.6%,22,050戸ですべて着工済み</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご遺体 9,409 体収容。引渡数は 9,399 体、ご遺族が 7,753 体、市町村が 1,646 体。</li> <li>・他県からの応援 840 名。1ヶ月前 1,300 名であり、徐々に縮小</li> </ul>
第92回	9月7日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 野田新内閣発足、末松本部長が総理補佐官に。官房長官が新しい本部長を人選中</li> <li>・死者 9,383 人、行方不明者 2,283 人、全壊 73,219 棟、避難所は 118 施設、避難者 2,888 人</li> <li>・水道の放射能値変動なし。空間も安定推移。9月12日第1回原発事故対策県民会議実施</li> <li>・雇用維持奨励金制度を創設する。国の助成金に上乗せして補助し、雇用確保のため体制整備</li> <li>・震災孤児石巻で2人増加、122人。育英募金申請件数 764 件総額 10 億円超。</li> <li>・県内市町村に保健師を派遣</li> <li>・民間賃借住宅借り上げ 23,359 件</li> <li>・牛糞堆肥、放射能物質、3市町で許容値を超過。個別検査を実施。野菜、牧草の損害 2 億 2 千万円の損害賠償を J A 協議会で東京電力に要求する</li> <li>・道路通行規制解除進んでいる。港湾カントリー 2 号線 9 月 5 日から再開</li> <li>・仙台空港台湾便 10 月 30 日から。ターミナルビル 9 月 25 日全面再開予定</li> <li>・建築制限、石巻市で 9 月 12 日に地域指定</li> <li>・ご遺体 9,947 体収容。引渡は 9,943 体。ご遺族 7,758 体、市町村 1,675 体</li> <li>・被害校が 3 校増加し、避難所の学校は 5 校減り 39 校</li> <li>・アクセス鉄道 10 月 1 日再開見込み。代替バスは 9 月末終了。網地島暫定ダイヤが運行中</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>政府現地対策本部の新本部長を厳選中である旨連絡あった。</p> <p>9月11日で震災後半年。だいぶ落ち着いてきたが、被災者は不安抱いている。被災者の気持ちくみ取り仕事に励んでほしい。</p> <p>台風 12 号関西で猛威。大きな被害を出している。大きな被害来ると想定し万全の体制で臨んで。</p>
第93回	9月21日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(政府) 三次補正議論真っ只中。遅いとの声もある。10月には成立させ執行できるよう頑張っていきたい</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地復旧ロードマップできた。13,000 h a 対象農地のうち、今年度 5,250 h a (春施工分含む) を施行</li> <li>・死者 9,415 人, 行方不明 2,141 人, 全壊 75,376 棟, 避難所 97 箇所, 2,122 人。</li> <li>・被害額は, 住宅関連が増え, 7兆 2,092 億円</li> <li>・離島航路, 塩竈 1 日 5 往復運行, 女川 9 月 17 日から土曜も追加。現在は台風で運転見合わせ</li> <li>・医療関係被害が 23 億円増加</li> <li>・震災孤児は 1 名増加 (女川 2, 名取 - 1) し, 712 人。育英募金は総額 11 億 4 千万円超</li> <li>・ボランティアは平均 1,000 ~ 1,500 人</li> <li>・放射能関係。牧草, 乳用牛と肥育牛への給与自粛。逐次解除していたが 9 月 16 日ですべて自粛要請解除。稲わら引き続き牛への給与自粛を要請中</li> <li>・応急仮設住宅の完成率は 98% であり, 残り 225 戸</li> <li>・昨日, 警察葬を実施した。知事の出席にも感謝申し上げる</li> <li>・ご遺体 9,467 体, 引渡 9,461 体, 引渡率 99%。ご遺族 7,768 体, 市町村 1,699 体</li> <li>・震災後 6 ヶ月の犯罪いずれも減っている。暴力団対策に力を入れていく</li> <li>・警察配備見通し, 3,900 人体制から 1,500 人体制に。600 は他県からの応援</li> <li>・工業水放射能物質不検出。南部山浄水場, 麓山浄水場の浄水発生土は場内保管</li> </ul>
第94回	10月20日	10時00分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者 9,444 人, 行方不明者 2,058 人, 全壊 76,078 棟。避難所 19 施設 268 人</li> <li>・被害額 1,688 億円増加, 合計 7 兆 3,781 億円</li> <li>・被災者生活再建支援制, 基礎支援金申請件数 10 万 5 千件超。復旧・復興寄付金, 88 億円超</li> <li>・仙台空港アクセス鉄道が復旧</li> <li>・水道査定は 96.2% 決定し, 今年度中に完了</li> <li>・放射線情報マップをホームページに開設</li> <li>・震災孤児は石巻で 3 人増加, 126 人。育英募金は 12,941 件 14 億円超</li> <li>・漁港漁場の廃棄物処理関係, 10 月から分布調査開始。閑上魚市場で 10 月 21 日せり開始</li> <li>・放射能関係, 牛糞堆肥基準値超で使用自粛。賠償関係, 県協議会</li> </ul>

			<p>通じ東京電力に約5億9,000万円の賠償請求。仮払い1億1千万円超が行われた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路通行止め61箇所規制中。落橋12箇所すべて通行可能</li> <li>・応急仮設住宅21,899戸完成。女川町で残り144戸</li> <li>・ご遺体9,490体収容。引渡は9,486体、ダイバーによる搜索等を検討中</li> <li>・気仙沼、南三陸で仮庁舎完成</li> <li>・10月下旬から11月上旬にダイバーの行方不明者集中搜索予定。災害対策本部、海上保安庁と調整中</li> <li>・被災地治安対策に他県部隊600名体制と本県警部隊1,000名1,600名体制</li> <li>・他県から、パトカー65台と136名、警ら部隊による治安対策</li> <li>・生徒2名、職員2名の死亡が確認。避難先は女川第1小学校のみ</li> </ul> <p><b>【知事指示事項】</b></p> <p>3月11日から7ヶ月経過。相当落ち着いてきた。避難者も一部除き応急仮設住宅入居が可能。昨日までの9月議会で復興計画議決。今後は復興対策へシフト。定例の災害対策本部は今回までとし、今後は本部会議に諮る事案あれば、その都度開催。ただし災害対策本部は引き続き継続していく。</p>
第95回 (最終)	3月26日	9時00分	<p><b>【復興庁宮城復興局担当大臣郡政務官】</b></p> <p>長期にわたる人命救助や支援物資、生活支援に対し経緯を表するとともに感謝申し上げます。災害対策から今後は復興へとステージが変わりますが、今後も連携しスピードを上げて取り組んでいきたい。第2次世界大戦から復興を遂げた日本を世界はジャパニーズエニグマと表しましたが、東日本大震災についても日本中、世界中が注目しておりますので、再びジャパニーズエニグマを見せられるように努力してまいりたいと思います。</p> <p><b>【知事】</b></p> <p>発災と同時に設置された災害対策本部は、災害に対する応急対策が概ね完了したと認められ、今後は復旧へと軸足を置いていくことから、災害対策本部要綱第2条第3項に基づき、本日当会議を以って廃止することとします。</p> <p>なお、廃止後も必要に応じ、各部局庁防災担当による連絡会議を開催し、連絡調整を諮っていくとともに、被害額についても引続き調査を継続し、随時県のホームページで公表してまいります。また、行方不明者についても、引続き市町村及び関係機関と連携し、搜索を継続してまいりたいと考えておりますので、警察本部、海上保安庁におかれましては、引続き、行方不明者の搜索についてご協力を</p>

お願いします。

昨年3月11日の発災直後からここに至るまで、政府、自衛隊、海上保安庁をはじめ関係機関の皆様のご尽力に改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。被災者の生活支援と被災地の復旧・復興に向けて、全力で取組んで参りますので、政府をはじめとする関係機関の皆様のご支援、ご協力を引き続きいただきますようお願い申し上げます。以上を以って、本部会議を終了します。

**【陸上自衛隊東北方面総監立花防衛副長】**

東日本大震災発生からひとくぎりご苦労様です。我々は既に撤収しておりますが、不測の事態に備えていつでも出動できる体制をとっております。改めましてご苦労様でした。

**【陸上自衛隊第6師団長】**

かつて多賀城で勤務したことがあり、ここ宮城は第2の故郷でございます。3月29日に福島の除染活動が終了し、現在は個人及び部隊を鍛錬しているところでございます。宮城県は第22普通科連隊、第2施設団、第6師団司令部で管轄しており、要請していただければ直ちに対応しますので、よろしく申し上げます。

**【海上保安庁宮城海上保安本部青山部長】**

1年をもって全国からの応援派遣は中止しておりますが、行方不明者については引き続き宮城海上保安本部において継続してまいりますので、今後とも支援をよろしく申し上げます。

**【知事】**

今後、被災者の生活支援と被災地の復旧・復興に向けて、全力で取り組んでまいりますので、政府をはじめとする関係機関の皆様のご支援、ご協力を引き続きいただきますようお願い申し上げます。



## 資料2 県災害対策本部及び関係機関の対応状況

本対応状況は、本書及び509ページ「資料3 県作成記録誌一覧」掲載の記録誌等を基に作成しています。対応内容の詳細については各記録誌を参照願います。

なお、「資料2 県災害対策本部及び関係機関の対応状況」上欄（「総括表」は除く。）記載のページ番号は、「東日本大震災－宮城県の6か月間の災害対応とその検証－」（平成24年3月）及び「東日本大震災（続編）－宮城県の発災6か月後から半年間の災害対応とその検証－」（平成25年3月）のおおむねの掲載ページを表記しています。

（凡例）

（前半〇〇P～〇〇P）：「東日本大震災－宮城県の6か月間の災害対応とその検証－」を参照

（後半〇〇P～〇〇P）：「東日本大震災（続編）－宮城県の発災6か月後から半年間の災害対応とその検証－」を参照

